



No.43 2024.6.27 発行

群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報  
<https://suirantaiikukai.com/>



●歴代会長左から・國峯善次郎氏(初代)、岩田武雄氏(2代)、山口正敏氏(3代)、高橋浩生氏(4代)、大田部功氏(5代)



## 翠巒体育会創立50周年を迎えて

翠巒体育会は昭和49年5月の発足からこの度50年を迎えました。それを記念し4代会長の高橋浩生氏と現会長の大田部功氏に忌憚なく語り合っていただきました。

**高橋**：陸上52期の動きは、翠巒体育会の趣旨に賛同したものだったと思います。その息子が翠巒体育会の会長になったということは、非常に感慨深いものがあります。

**櫻井**：現役時代の思い出はいかがですか。

**高橋**：私はバレーボール部に所属していました。現役時代には、目標としていた「春の高校選抜大会(春高バレー)」に出場できました。1回戦で長野の国体強化チームであった強豪の岡谷工業を下し、ベスト16に進出。次戦では藤沢商業に敗れましたが、同校が優勝したので実質、準優勝だと今でも思っています。

高橋のバレーボール部は過去5度、全国大会に出場していますが、春高バレーへの出場は自分達の代だけです。この栄光は、本当に多くの先輩方の物質的、金銭的、精神的支援があってのものと深く感謝しています。

**大田部**：私は「たかがラグビー、されどラグビー」をスローガンに、練習に明け暮れる毎日でした。その甲斐あって2年時にレギュラーとして全国大会に出場できました。

1回戦を勝ち、2回戦では優勝候補だった天理高校との対戦でした。前半はリードして終えることができましたが、後

半に逆転されたものの、翌日の新聞には「高高、大魚を逃す」の見出しが紙面を飾っていました。最高の纏まりと集中力の凝縮した試合だったことは今でも忘れません。花園での経験は今でも一生の思い出ですが、それ以上に、ラグビーを通じて知り合えた先輩、後輩、仲間たちとの出会いは、掛け替えのない財産です。

**櫻井**：会長に就任された当時の想いをお聞かせいただけますか。

**高橋**：私が3代会長の山口正敏氏(卓球58期)からバトンを受けたのは2003年のことです。山口3代会長が58期なので、一挙に20年も若返ることになり、大きなプレッシャーを感じたものです。それでも、オリンピックで金メダルを獲った男子バレーボールの松平康隆監督の著書に「あえて火中の栗を拾うのも男だ」という言葉があり、それに翠巒魂を感じたことが会長を引き受ける要因のひとつになりました。

山口3代会長は会長への就任にあたり、翠巒体育会の財産の充実を目標に挙げ、見事にこれを成し遂げられました。私が掲げたのは「楽しく、仲良く、そして強く」です。

「楽しく」は、まさに言葉どおりです。翠巒体育会の行事は楽しさを最優先としました。行事では、顔を合わせること自

### 1 ON AIR 会長就任を振り返って

**櫻井**：僭越ながら司会進行を務める事務局の櫻井健一(応援87期)です。本日はお忙しい中、ご足労いただきありがとうございます。まずは翠巒体育会が創立50年を迎えたことに、どのような感慨をお持ちですか。

**高橋**：改めて50年を振り返ってみて、初代会長の國峯善次郎氏(サッカー50期)に素晴らしい会を創っていただいたと実感しています。会の目的は高高運動部の後援と会員相互の親睦、OB会未結成の部の組織化のサポートでした。

**大田部**：翠巒体育会が創立されたのは私が小学生のときだったと思います。父親が陸上部OB会の初代会長をしていて何か色々と動いていたのが、かすかに記憶に残っています。それから50年経つわけで、非常に歴史を感じます。

私自身は最初、ラグビー部のOB会の活動が中心でしたが、同期の富田和弘君(応援85期)から誘われ翠巒体育会に関わるようになりました。その後、いつの間にか副会長になり、高橋浩生前会長(バレー78期)からバトンを引き継ぐことになったわけです。

**高橋**：大田部会長のご尊父様大田部

体を楽しいものにし、楽しいから集まるという会にすることを考えました。

「仲良く」については、私自身が翠巒体育会の活動を通して自分のOB会以外の大勢の方々と知己を得ることができました。OB会組織は単体活動になりがちですが、翠巒体育会はマトリックス組織として会員相互を仲良く結びつける会でありたかったのです。

「強く」は山口3代会長が翠巒体育会を経済的に強くすることに尽力されたので、それを継承したものでした。

**大田部：**高橋4代会長からご指名を受けた時は、責任重大な役目を、はたして私に務まるだろうか、「猿に鳥帽子」ではないかと不安一杯でしたが、高橋4代会長の熱き思いに心を打たれ、また、母校への恩返しとの思いで、お引き受けしました。

**翠巒体育会五代会長**  
(2015年4月～現在)  
ラグビー部OB(85期)

## 大田部 功

活発になったのは、春高バレーで活躍したことがきっかけになったと思います。現役思いのOBが多かったので、夏休み等の練習日を知らせる葉書を現役生で手作りし、先輩方に練習を観ていただきたり、参加していただいたりしました。

**大田部：**ラグビー部のOB会は翠巒体育会の歴史より長く来年80周年を迎えます。部活の練習はとても厳しく、練習中は水も飲めない時代でした。加えて、OBの先輩が来ると、練習がいっそうハードになった思い出があります。大学のラグビー部に入っている先輩も多く、大学での練習方法を指導してくれたのです。当時は、出来れば来てほしくないなあ(笑)なんて思ったりもしましたが、今思えば、個々の技術のレベルアップと精神的な向上に大いに役立ったと感謝しています。



就任後は、今まで偉大な先輩方が行ってきた「現役生への物心両面でのサポート」は勿論のこと、他に三つの目標を掲げました。一つ目は、まだOB会組織の無い部活動に対して、OB会発足のお手伝いをすること、二つ目は、今まで翠巒体育会の行事に参加したことのない会員への呼びかけ、特に次世代を背負う若手の発掘に力を入れていくこと、三つ目は、会の財政的・組織的強化を目指し新しい行事をやってみることです。

**櫻井：**現役時代に翠巒体育会やOB会との思い出はありますか。

**高橋：**バレーボール部のOB会活動が

れたのも大きかったです。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

そして、ありがたかったのが会員の名簿がしっかりと作成されていたことです。これは、パソコンのない時代にもかかわらず、手作業で作り上げた岩田武雄2代会長(バスケ53期)の功績です。

辛かったことは思い出せませんが、嬉しかったのは野球部が2012年に2回目の甲子園出場を果たしたのをはじめ、多くの運動部が全国大会や関東大会で活躍したことです。全国で活躍できると、OB会も翠巒体育会も活気づきます。

**大田部：**会長の重責が自分に務まるか不安に思っていた中で、櫻井健一君、坂本弘君(バレー87期)、横田裕正君(スキー92期)の後輩3人が事務局として私の指名を快く引き受けてくれたことは、とてもありがとうございました。

嬉しかったのは、やはり高橋前会長と同じで、現役生の活躍です。特に、就任した翌年に県高校総合体育大会で初めて総合優勝したのは快挙でした。

**高橋：**運動部は競技である限り勝ちにこだわってほしいです。それも文武両道をモットーにする高高生ならではのこだわり方があると思っています。

強豪校が3時間練習して強くなるなら、高高生は自分自身の時間価値を高め、30分の練習でも勝つ方法を見つけてほしい。そこに面白さがある。春高バレーで勝つことができたのは、当時大学でもやっていなかったデータを分析して相手の弱点を突く戦術を駆使した結果でした。力で勝つバレーではなく、相手が負っていくバレーというものです。

**大田部：**同感です。ライバルと同じことをやっていても、勝利を手にすることはできません。工夫しながらコツコツ取り組むことで、一段上にレベルアップできるのではないかでしょうか。

**櫻井：**ご自身の会長としての取り組みについては、どのような思い出がありますか。

**高橋：**行事では、太陽誘電のソフトボール部の女子選手を招き、ソフトボール大会を開催したことと、学芸部OBとの交流

製鋼原料・非鉄金属  
産業廃棄物収集運搬・計量証明

## 上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀬 憲昭 同窓会会長  
高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871(八幡第二工業団地)  
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

## 高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会会长  
バレーボール部(78期)

税理士 白井 浩一 水泳部(89期)

〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10

TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302

[http://www.kaikei-home.com/cpta\\_hiro-hp/](http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro-hp/)

## 有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高閑町316-6

TEL(027)323-5988 FAX(027)323-5858

ができればということでゴルフ大会に合唱部OB会を招待したことが思い出に残っています。また、テニス部とスキー・スケート部の翠巒体育会加入も喜ばしい成果でした。

合唱部の招待は「翠巒学芸部」を立ち上げる一助になればという意図もあったのですが、そこまでは力及ばずという結果に終わりました。

**大田部：**私も高橋前会長を見習ってソフトボール大会等、OB達が元気になる企画を今も模索中です。

**高橋：**自分の中で思い出深く、先輩からも評価していただいたのが2010年から始めた「活性化忘年会」でした。各OB会に「必ず同窓会幹事期より若い世代を参加させてください」と呼びかけたところ、100期代の若手まで参加してもらえるイベントになりました。

山口3代会長時代に参加したスプリングフェスティバルバザーは、会の財政を強くする上で大いに役立ちはじめました。各部OB会に依頼して贈答品や日用品を寄贈していただき、それを破格の値段で販売したので、午前中に完売。参加会員には不人気でしたが、数年で約100万円の財政基盤を築く助力がありました。

**大田部：**「活性化忘年会」は若手を取り込む素晴らしい企画ですので、私はその方向性は維持しつつ、「若手」に今一步フォーカスさせたWFK(若手を増やす会)を2017年に立ち上げました。記念すべき第1回は、77期から112期までの沢山のOB達が集まり盛況に終えることができ、今後に大きな期待を抱かせるものとなりました。ところが2020年に発生した新型コロナウィルス感染症の影響で一時中断せざるを得なくなったのは残念でしたが、現在コロナも落ち着いてきましたので、回数を増やすなどして更に力を入れたいと考えています。

**高橋：**大田部会長は、コロナ禍で大変苦労されたと思います。私が先輩のアドバイスで印象に残っている言葉に「人が集まれば何かが生まれる」というものがあります。これを実践するため、これまで述べて

きた様々な行事を考え出しました。大田部会長は、コロナ禍でその機会を奪われることになったわけですから。

**大田部：**確かに会の目的である「親睦」をどう図っていくか、暗澹たる気持ちになりました。オンラインという手段はありましたがあれど、やはり何か違う気がしたのです。事務局とも相談して、せっかく築き上げた縦横のつながりを切らないよう「やれることはやろう」と。ひとつ心に決めたのは「何もやらないことはやめよう」ということでした。

でも、コロナ禍で私たち以上に大変だったのは現役生でしょう。目標となる日頃の苦しい練習の成果を發揮する大会が中止になってしまったわけですから。にもかかわらず、練習に取り組むモチベーションをよく維持していたと思います。私たちも負けてはいられません。

**高橋：**やり残したことと言えば、OB会の

す。そこで、大学生になったとき、私の代の前後に声をかけ、集まって新年会を開いたのがOB会につながりました。

翠巒体育会については、先輩から呼ばれて行くと、通帳をポンと渡され「おまえがこれから会計だぞ」の一言で翠巒体育会との関りが始まりました。

**大田部：**私の場合は大学卒業後に就職した会社にちょうどラグビー部が出来て、社会人のクラブチームと試合するようになり、それらのチームで活躍している先輩からOB会に誘っていただいたことがきっかけです。在職中は忙しくてなかなか出られなかったのですが、退職してからはOB会に参加できるようになりました。

翠巒体育会については、OB会に参加するようになってから会の設立の趣旨を聞き、自ら進んで参加するようになりました。



**第四代会長**  
(2003年4月～2015年3月)  
バレーボール部OB(78期)

## 高橋 浩生



### 次世代への提言

**櫻井：**次世代の翠巒体育会やOB会、現役生のアドバイスをお願いします。

**高橋：**社会の変化やAI(人工知能)の発達など、いろいろな難しい問題が起きている時代です。過度なご都合個人主義がまかり通っています。コロナ禍を経て、今までとは全く違う感覚が求められてくるかもしれません。それでも翠巒体育会は、相変わらず人が集まって触れ合う人間味あふれる、男臭い集合体であってほしい。

現役の支援も大切な役割です。現役

**表野登記測量事務所**  
土地・建物の登記・測量／開発申請／相続／各種許可申請  
土地家屋調査士 表野 真拡(ラグビー部・83期)  
高崎市小八木町1450番地7  
TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287  
E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp

**しばやま歯科**  
柴山 佳行 (ラグビー部・96期)  
〒370-0849高崎市八島町107-102  
TEL.027-393-6480

衣料一筋一世紀  
**本店**タカハシ  
社長 高橋哲人 ラグビー部(89期)  
(株)タカハシ本店 群馬県高崎市鞘町49  
☎ 027-323-4821 FAX 027-326-3533  
ホームページ <http://www.hontaka.biz/>  
本タカブログ [http://blogs.yahoo.co.jp/hontaka\\_web](http://blogs.yahoo.co.jp/hontaka_web)

がスポーツを通して心豊かな地域のリーダーになれるように援助ができれば最高だと思います。地域のリーダーとは、わが町からはじまって全世界のリーダーまであります。

**大田部：**運動部だった皆さんは「高高でスポーツをやってきて良かった」という思いがあるはずです。それを言い伝えていくことが必要です。そして、人が集まれば、本当に楽しい時間が過ごせることを何度も実感しているので、それを皆さんに知ってほしい。それを言い続けていきたい。

翠巒体育会としては、歴代の先輩方が取り組んできたことをしっかり引き継ぎながら、途絶えることなく続けていくことが最も重要です。これからもどんどん声をかけて、集まる場を作りたいと思っています。

**高橋：**大田部会長の言う通りで、集まることが楽しい場にしてほしいですね。

**大田部：**コロナ禍による閉塞感で、集まれたときのリアルな関係性が本当に大切なことを感じることができました。

**櫻井：**現役生に対してもアドバイスをお願いします。文武両道をモットーにする高高では、「文」で現役での合格率が90%を超えていました。一方、「武」ではお二人の現役時代に及んでいない感があります。何か強くなる方法はありますか。

**高橋：**頭を使うことです。自分の強みを最大限活用することです。

**大田部：**強くなるには、こうすれば良いという簡単なことはなく、たくさんの要素が必要であり、その順番があると思

います。団体スポーツであるラグビーで言えば、少人数では厳しい。15人するスポーツなのに、10人しかいなかったら試合もできません。たとえ15人揃っても、1人でもケガをしたら不利になりますし、試合形式の練習もできない。まずは部員を確保することです。

**櫻井：**少子化で部員の確保もなかなか難しい時代になりました。

**大田部：**子どもの絶対数が減る中で、確かに簡単なことではありません。これは学校への提言になりますが、(今も禁止ではないかもしれません)兼部・二刀流を認めるのもひとつの手段だと思います。

柔道部だった生徒にラグビー部の体験授業をしてもらったところ、面白さに目覚め入部してもらったことがあります。

**櫻井：**頭の使い方ではいかがですか。

**大田部：**OBになってから現役生のコーチをしたことがあります。そのとき自分たちの時代との感覚の違いを感じましたが、目指すべきものは同じだと思っています。大切なのは、チームなり、個人なりが、勝負に勝つためには、常に自分よりレベルの高い環境に触れ、それに追いつこうとする向上心を持つこと。スポーツは上を目指すことで強くなるものです。強いチーム、強い個人を研究し、どうしたらそれを超えることができるかを考え、実践することが大事かと。

**高橋：**私が「頭を使う」と言ったのも、それに近いものがあります。さきほど現役時代に全国大会に出場した話はしましたが、相手を徹底的に研究するとともに、自分たちの強みを熟知し、さらに何があ

れば全国に行けるのかを常に考えました。加算方式でした。

**櫻井：**コツコツ努力しても、なかなかレギュラーになれない場合もあります。

**大田部：**私の中では、簡単に何でも出来てしまう人よりも、不器用でもコツコツ努力する人のほうが成功するイメージがあります。まずは個のレベルアップが必要でしょう。

**高橋：**回答になるかどうかわかりませんが、私もずっと中心選手として頑張っていましたが、年齢もいったころから翠巒クラブで控えに回ることになりました。それでも面白いのです。与えられた環境で自分がどのように生きどう満足するか。その中で、一生懸命努力することが大切なのでしょう。

**櫻井：**最後に、現役生に対するメッセージをお願いします。

**高橋：**同窓会も翠巒体育会も旧交を温めるとともに新たな人と会える貴重な場です。そして、その出会いが一生の付き合いにつながる場合もあります。そればかりを期待しているわけではありませんが、結果としてそうした出会いがあるのが同窓会であり、翠巒体育会なのです。

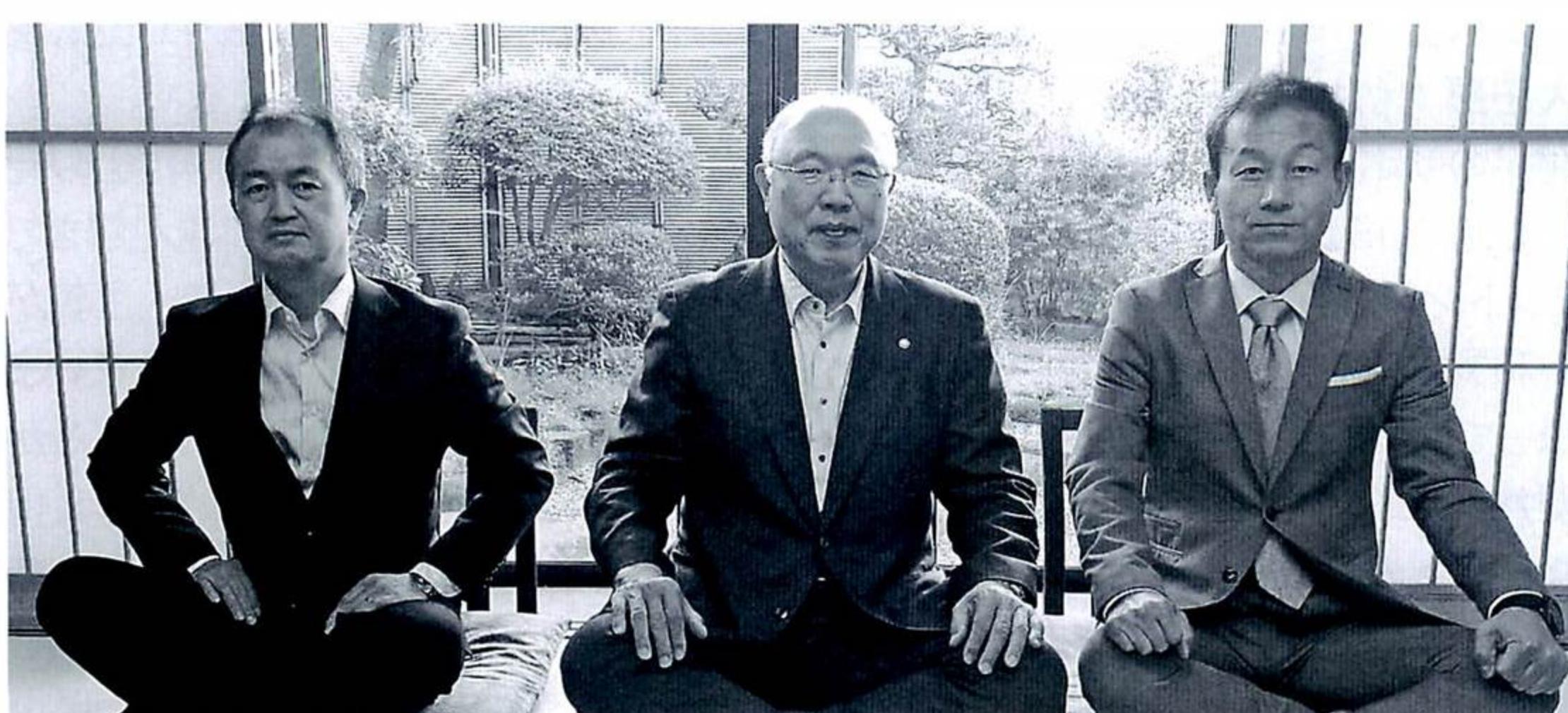
高崎高校は人材の宝庫です。ぜひ会に参加してほしいと思います。

**大田部：**世の中には様々な集まりがありますが、同じ高校に在籍した、同じ部活で運動した、それだけで出会いの先に「違う」があると思います。まずは、自ら進んで出席して、いろんな人の会話を楽しんでほしい。特に、ご高齢の先輩から聞く昔の話はすごく勉強になるはずです。

なかでも、翠巒体育会は自由度が高く部活の垣根をも超越した組織なので、途中で断念した人や、たとえ運動部に入っていないなくても、こうした運動がしたかったという気持ちだけで参加してほしい思いです。

**高橋：**翠巒体育会は、おそらく全国でも唯一無二の団体だと思います。50周年を迎えるこの先も翠巒体育会が永続することを祈念するとともに、これまで翠巒体育会に関わったすべての皆様に感謝を申し上げます。

**櫻井：**本日はありがとうございました。



硬式野球部OB(91期)

税理士 清水 元

清水元税理士事務所

高崎市上小鳥町197-2 TEL.027-386-4349

司法書士法人もてき・新井合同事務所

司法書士・土地家屋調査士・行政書士

茂木 光男 硬式野球部OB(92期)

〒370-0854 群馬県高崎市下之城町186番地1

TEL.027-386-3350 FAX.027-386-3351

 **OSAKABE**  
AUTOMOBILE ENGINEERING

HP:<https://osakabejikou.com>

代表取締役 長壁 幹 (硬式野球部・104期)

〒379-0112 群馬県安中市岩井834-1

TEL:027-384-2800 FAX:027-384-2811

# 新校長先生赴任



校長  
佐鳥 秋彦

## 「三F精神とは」

翠巒体育会員の皆様におかれましては、日ごろより本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り感謝申し上げます。また、設立50周年を迎えたことに心よりお祝いを申し上げます。

4月1日に高崎高校に赴任し、校門に足を踏み入れます驚いたのは玄関前にあるケヤキの大木です。3F池の奥に聳える本校のシンボルツリー的存在ですが、校舎の屋上に到達するほどの巨木であったろうかと卒業してから38年の月日が流れていることも忘れ、見入ってしまいました。

また、今年は気候の影響で桜の開花が遅れたため、久しぶりに桜花の下での入学式となりました。新入生にとっては思い出に残る入学式になったのではないかと感じています。

さて、始業式の日に、2・3年生には三F精神について話をいたしました。申しますのも、三FのFが何であるかばかりに目が行き、何故、高崎高校が三F精神を教育目標に掲げるようになったのか、私自身がその経緯を承知していなかったためです。高崎高校百年史を拝見したところ、「三F精神は十七代校長である田中悦平先生が昭和29年(1954年)に講演された内容に生徒が感銘を受け、以後、教育目標に掲げた」とありますが、講演された内容については掲載されていませんでした。そこで「三F精神」とインターネットで検索してみました。すると、本

校以外にも三F精神を教育目標に掲げている学校がいくつかあることが分かりました。例えば東京にある駒場東邦高校もその1つなのですが、創立が1958年ということで、田中先生の講演よりも後でした。1954年より前に設立した学校を見つけることができず、次に「田中悦平」で検索してみました。すると、先生が3冊の書籍を出されていることが分かり、その中の1冊が高崎市立図書館にあることが分かりました。「高校生の倫理」という本なのですが、この中に、「高校生の倫理～三F精神について～」という章がありました。部活動への取組や大会に臨む姿勢についても触れられている箇所がありましたので、ここであらためて掲載させていただきます。途中割愛している箇所もありますが、内容は概ね以下の通りです。

『私は、高校生の倫理道徳は、抽象的なものや、実行できそうもない多くの徳目を何でもかんでも並べ立てることはできるだけ避け、若き魂に訴え、これを鼓舞するようなものでありたいと思っている。人生を如何に生きるべきかを、自ら考えさせるようなものでありたいと思うのである。

高校生がその心に堅持すべき倫理として、ここに三F精神ということを述べておきたい。三Fとは「ファイティング・スピリット、フェア・プレー及びフレンドシップ」の3つの言葉の頭文字のFをとっている。もちろん、これだけで高校生が心がけるべき倫理のすべてとすることはできないが、これは忘れてはならない基本的な心構えだと思う。

ファイティング・スピリットは、障害に対して、進んでこれに立ち向かい、また、どんな辛いとき、苦しい時にも、ナニクソと言って頑張る、堅い精神である。男子たるもののは、人生において障害に出会ったとき、いつもこれを避けて通るような、臆病な精神や行動を恥としなければならない。イメージ・ゴーイングは特に青年の恥である。

次にフェア・プレー。これはつまり正々堂々の試合である。いやしくもゲームに臨む限り、卑劣なまねをしてはならない。ただ勝てば良いというだけのことであっては

ならない。たとえ負けても、さすが高高的生徒だと言われるような負け方をしてもらいたい。自分の持ち得る力をすべて出し尽くした上で負けは、技巧だけで勝つよりもはるかに立派である。日常生活のいかなる場合にも、卑劣なまねをするのは恥ずかしいことである。公明正大で、仰いで天に恥じず、俯して地に恥じぬ生活をしなければならない。フェアでないと言わることは最も恥ずかしいことである。

次にフレンドシップ、すなわち友情を忘れないで欲しい。最近、普通科高校が予備校化しつつあるという声を聞く。これは普通科高校では、生徒も保護者も、大学入学を熱望し、入学試験に合格することが近年難しくなったので、ある程度やむを得ない現象であると思う。しかし、予備校になくて高校にあるものは何であろうか。これは生徒間の眞の友情である。私は我が校にもっと欲しいものは友情であると思っている。生徒間の友情、先生と生徒の間の信頼が大切である。友情が深まるこことによって、自然に学校のレベルも高くなるものだと思うのである。

終戦後、日本人は民主主義の名のもとに、自分さえ良ければ他人はどうでもよいという、利己的な傾向が強くなつたが、民主主義の真髓は、他人の人格を尊重するところにある。私たちは、何人に対しても悪意を抱かず、すべての人に対し善意を抱くよう心がけたいものである。

生徒諸君は、誰もがこの三F精神を胸に深く刻み、そしてこれを合い言葉に運動部の練習や教室で勉強するとき、日常生活においても実践することを望むのである。』

当時の高高生が田中校長先生のお話を伺い、これを矜持としたことを誇りに思うと同時に、70年間にわたり掲げてきた三F精神をあらためて胸に刻み、日々の教育活動に全力で臨まねばと感じた次第です。

結びになりますが、翠巒体育会の皆様のご健勝と、これからも変わらぬご支援をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

**内科・皮膚科・泌尿器科・外科  
いわい中央クリニック**

院長 神保 裕之 (スキー・スケート部83期)

診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30  
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

安中市岩井2465-1 ☎027-381-2201 電話予約可

**佐藤病院**  
産科婦人科  
館出張

院長 佐藤 雄一  
スキー・スケート部OB(86期)

〒370-0836 群馬県高崎市若松町96  
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248  
http://www.sato-hospital.gr.jp/

**沼野クリニック**  
内科・胃腸科・外科・皮膚科・美容外来(予約制)

院長 沼野 藤雅 (スキー・スケート部89期)

診療時間：AM9:00~12:30 PM3:30~6:30  
休診日：日曜・祝日 皮膚科・美容外来は木曜のみ診察  
高崎市柳川町15番地 ☎027-322-2926

**特別寄稿** 香川県のJクラブ「カマタマーレ讃岐」への思いと母校と父への感謝

株式会社カマタマーレ讃岐 代表取締役社長 池内 秀樹(サッカー部・80期)



私は、昭和56年3月卒、80期、現在、J3リーグ所属の株式会社カマタマーレ讃岐(香川県)の代表取締役社長を務めています。

高高サッカー部では、走ることが苦手で、練習最後の100m×10本走では制限タイムに入れず、ペナルティ走に仲間を巻き込むなど迷惑をかけました。特に、夏の合宿で朝一に行う乗附の坂道ダッシュでは、電柱の目標本数が増えると走り切れず、情けない気持ちでいっぱいでした。それが高校2年の健康診断で鉄欠乏性貧血と診断され、鉄剤を服用してから、ようやく人並みに走れるようになりました。レギュラーにはなれませんでしたが、最後の半年は一番充実した部活ができました。冷静沈着な石黒毅先生の指導の下、練習は自分たちで考えたメニューが多く、特に同期の矢島敬雅が考えた通称「ヤジマ」はハードな走力トレーニングでしたが、強くなるために必要とだれも文句を言わずに毎日続けました。いい戦績は残せませんでしたが、サッカーと真摯に向き合うチームでした。

私がサッカーを始めたのは、父、嵩(たかし)の影響です。高高サッカー部(53期)、群馬大学教育学部でサッカーをやった父は、教員になった後もサッカーから離れることなく、今でも群馬県サッカー協会の役職に就いております。父とは、小学生時代、自宅前の道路でよくボールを蹴りました。家には、デッドマーク・クラマー氏の著書や、1970年のメキシコワールドカップに関する本があり、毎月「サッカーマガジン」と「イレブン」が届く、サッカーがあたり前の家でした。小学4年の時に、地元でサッカー少年団がスタートし、私も高崎西FCに入団しました。群馬県出身で日本代表だった藤口光紀選手が高崎西FCの練習に来て

くれたことは、今でも鮮明に覚えていました。毎週、テレビで、三菱ダイヤモンドサッカーを父と一緒に観るのも楽しみでした。1974年の西ドイツワールドカップは、西ドイツ対オランダの決勝戦を深夜、ライブで父と一緒に観ました。サッカーに対する強い愛着は、父と一緒に過ごした小学生時代に培われたものです。

高高卒業後は、自分でプレーするより観戦が中心で、日本代表のドーハの悲劇で涙を流し、Jリーグ開幕後は浦和レッズの試合観戦に通いました。それが、自分の長男が入ったサッカー少年団でコーチをするうちに、自分でもう一度、プレーしたくなり、40歳のタイミングでシニアリーグのチームに入り、そこから毎週末、試合がない日は10km走ることをノルマにして、40歳から56歳までプレーしました。

会社生活は、大学卒業後、メーカー5年、航空会社18年、アパレル会社11年でした。アパレル会社では役員を務め、2016年に会社を上場させた後、ふと残りの人生を考えた時に、自分の好きな仕事でもっと世の中と関わりたいという思いを強くしました。その時、スポーツビジネスの経営の基軸を学ぶ Sports Human Capital (SHC) という学びの場を知り、SHC5期生として2018年3月から7月まで週末、通いました。修了後、SHC事務局の方がキャリア相談に乗ってくれ、Jリーグクラブへの転職を相談したところ、カマタマーレ讃岐とのご縁をいただきました。アパレル会社役員の任期満了を待って、2019年6月に代表取締役専務としてカマタマーレ讃岐に入社しま

した。私の就任時に既に体調を崩されていた社長が2019年12月に急逝したことから、後を継ぐ形で代表取締役社長に就任しました。

サッカーの魅力は、地元の熱狂的なサポーターとともに、チームが強くなり、昇格を重ねることで、世界で戦う道が拓けることです。ローカルコンテンツでありながら、グローバルコンテンツになりうることが一番の魅力です。讃岐のサポーターと一緒に、アジアチャンピオンズリーグで戦うことをめざしています。日本では人口減少、高齢化が進みますが、讃岐で活躍する外国籍選手を作り、海外ファンも取り込んでいきたいです。

またサッカーは、たくさんの人をつなぎ、人生に彩を与えてくれます。昨年10月、広島経済大学の藤口光紀教授が、讃岐の試合を観に来てくれました。小学6年の時の思い出を讃岐の米山篤志現監督に話したところ、以前から交流があった藤口教授を呼んでくれました。

私が今、カマタマーレ讃岐で働くのは、サッカーのすばらしさを教えてくれた父と高高サッカー部のおかげです。高高は、各界で活躍するたくさんの人材を輩出しています。今後、高高サッカー部から、中町公祐選手に続く第2、第3のJリーガーが生まれるはずですし、JリーグやJクラブのスタッフや経営者として、サッカーの魅力をもっと世界に広める卒業生が出てくると信じています。末筆ではございますが、母校ならびに翠巒体育会のますますの発展を心よりお祈りいたします。



(左から) 米山篤志監督、藤口光紀教授、著者

**ナカザケ酒舗**

ナカザケ酒舗

有限会社 仲沢酒店

仲澤 賢一 (バスケットボール部 第86期)

高崎市八千代町1-12-4  
(和田橋通り)  
電話 027-323-1621  
FAX 027-326-2141

(社)日本ソムリエ協会認定 シニアソムリエ  
(社)日本ソムリエ協会 群馬支部支部長  
ホームページ <http://www.nakasake.com>

**株式会社 塚本工務店**

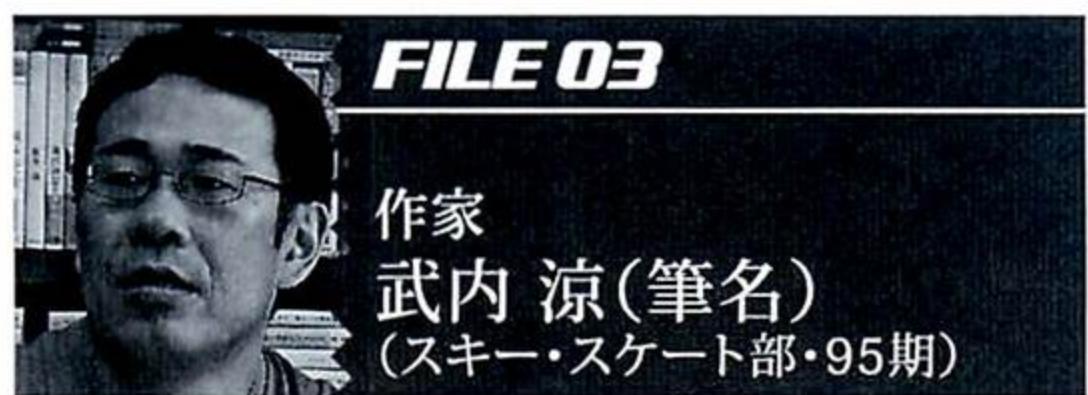
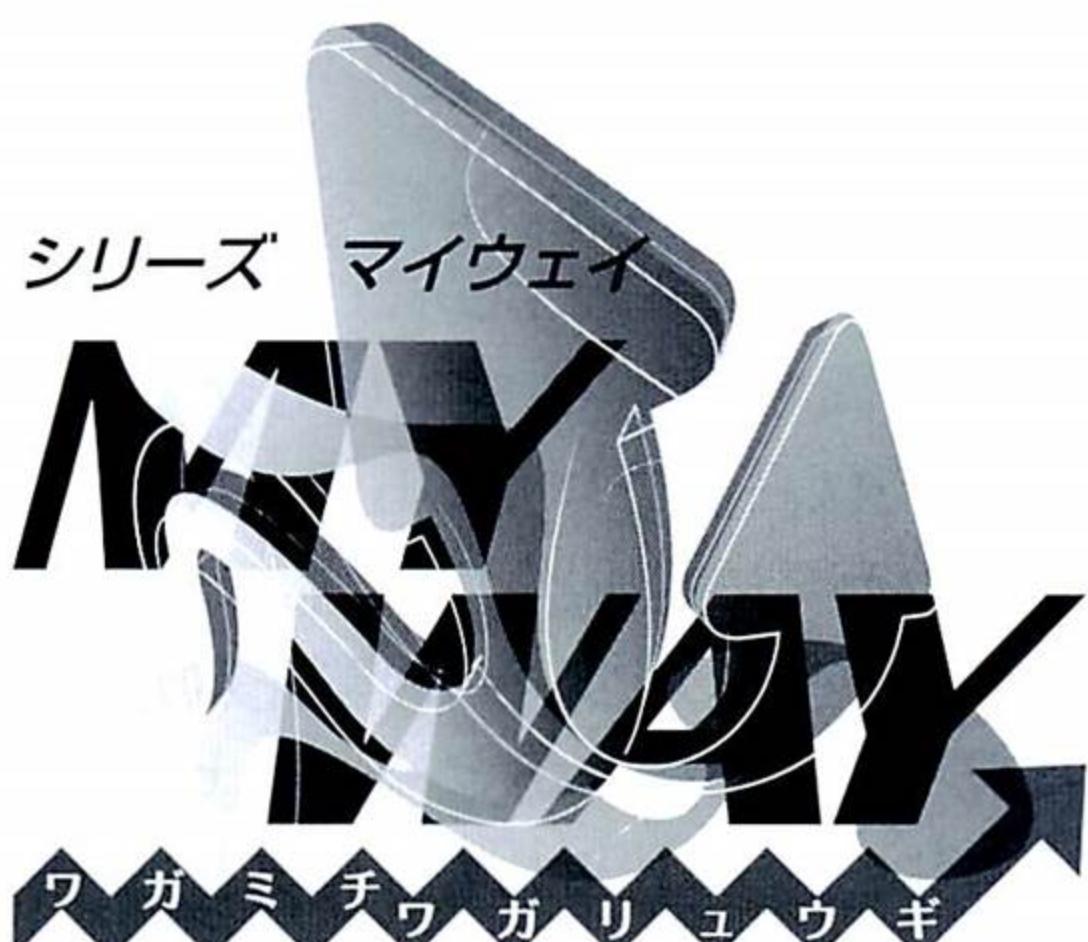
**塚本 浩史**  
(バスケットボール部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1  
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

**株式会社 大利根漬**

**富沢 慎一・誠佑**  
(バスケットボール部 99期)

〒370-3334 群馬県高崎市本郷町150-1  
TEL:027-343-6007 FAX:027-344-1588



## FILE 03

作家  
武内涼(筆名)  
(スキー・スケート部・95期)

## 大好きなものが武器になり道を開く

私の高高の思い出は——吹きすさぶ空つ風と共に。横殴りの赤城竜が、ぶつかってくる大田園地帯を、高崎の端から、自転車で駆け抜け、遅刻ぎりぎりの刻限に、和田橋を渡り、汗だくになつて校門を潜る。

そんな日々が今も鮮やかに胸に蘇る。

その頃の私を貫いていた一念は、映画監督になりたいということだった。

歴史、忍者、妖怪が好きだから、忍びや魔物が跳梁跋扈する時代劇を創りたい、こんな夢があったのだ。

東京の大学に出、映画サークルに入り、自主映画を撮りまくった。自主映画祭で認められ、監督になりたいという思いがあったのだ。

が、失敗。

映画作りに明け暮れて大学を留年。

テレビ局や映画会社をまわった就職活動も……失敗。

私は、フリーの制作として映画業界にどうにか潜り込んだ。

どんな仕事か?

ロケ弁を注文したり、ロケ場所を探したり、車を運転したり、宿を手配したり、俳優さんやスタッフの飲み物を作ったりする仕事だ。

映画のスタッフ——撮影や照明や美

術——の仕事が、ほぼ全て、カメラに写る仕事であるのに対し、制作はロケハン(ロケ地搜索)以外は、カメラに写らぬ雑事の全てを担当する。

基本は、朝早くから夜遅くまで。

珍奇な話や、失敗談(例えば三谷幸喜監督の目の前で夜の埠頭から転落し——救急病院に運ばれたとか)も色々あるが……紙面の都合からここでは語るまい。

そのような仕事を三十過ぎまで続けた後、私に、迷いが生れる。

このままスタッフを続けていて監督になれるのか? また散々あこがれてきた監督だが、夢が叶ったとして、自分は監督に向いているのか? という迷いだ。

他にも色々思うところがあり、私は一年ほど懊惱した末、映画の仕事を、辞めた。

辞めて無職になった……。

この時ほど先が見えず不安に落ち込んだ時はなかったように思う。

大都会の一隅で、私は傷ついた小鳥のように途方に暮れていた。

そんな時、私を励ましてくれたのは家族であり、昔からの友人達であり、故郷、群馬の風景だった。また、今まで読んできた本、観てきた映画の、主人公が絶望から蘇るシーンにも助けられたし、歴史上の人物たちの逸話にも力をもらつた。人質という苦境から天下人になった徳川家康、一時は牢人というどん底に沈むも山陰山陽十一ヶ国の大守と呼ばれるまでになった尼子経久などの武将たちの物語だ。

私はここで負けてはなるものか、物語を創るという初心に返ろうと思い、ある夏の日、新宿御苑に向かった。

酷暑の中、新宿御苑のベンチに座り、「何か一つ面白い物語を思いつくまで、このベンチをはなれないぞ。どんなに喉が渇いても、飲み物を、どんなに腹

が減っても、食べ物を買いに行かない」こう誓ったのだ。(危ないので真似しないで下さい) 夕暮れまで汗だくになってベンチに座っていて、ある一つの物語が閃いた。

戦国時代、荒れ寺に閉じ込められた忍者と妖怪が死闘を繰り広げるという話が、初めのシーンから最後のシーン迄、ノンストップの映画の如く脳内で再生されたのだ。

帰宅し夢中で原稿用紙に書き殴った。

これが私の作家としてのデビュー作・忍びの森(角川書店)である。角川書店の新人賞に応募したことがきっかけでデビュー出来たのだ。今は作家となって十数年になるが、先程話に出た尼子経久の物語・謀聖 尼子経久伝(講談社)も念願叶って書くことが出来た。最新の単行本は虎狼が鎧を削り、陰謀渦巻く戦国の世を描いた巖島(新潮社)だ。

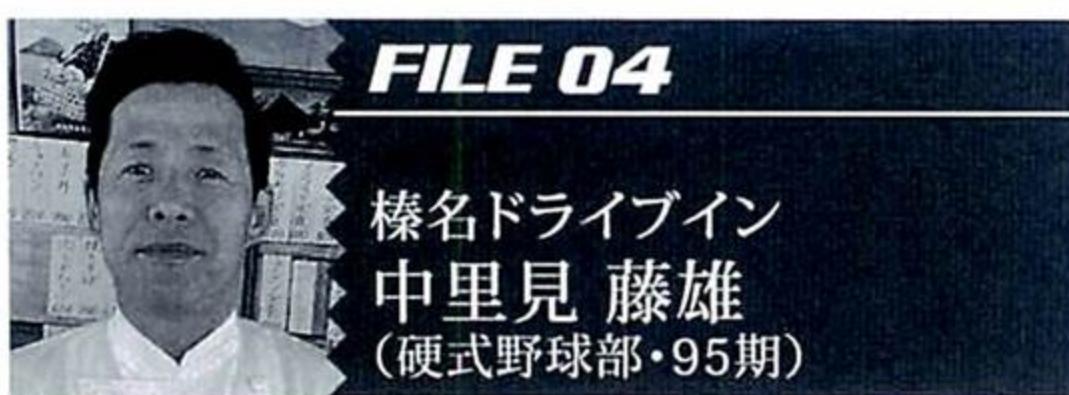
高高の後輩たちに言いたいのは、どんなに辛い時、苦しい時でも、君が大好きなものが君の武器になり道を開くことがある、ということだ。どれほど先が見えず、どれだけ落ち込んでも、自分や明日を信じることさえ出来れば……思わぬ方角から道が開ける、そんな幸運もこの世にはあるということだ。



カーエレクトロニクス グッズ&サービス  
**群馬電装株式会社**  
本部・サービス部: 高崎市江木町117  
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627  
<http://www.gunmadenso.co.jp/>  
代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

**群馬トヨペット株式会社**  
前橋市石倉町2-6-5  
TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251  
代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

**金井勉社会保険労務士オフィス**  
**金井 勉**  
社会保険労務士 金井 勉  
(剣道部 66期)  
〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1  
TEL.044-948-6591  
E-mail [kanae7@world.ocn.ne.jp](mailto:kanae7@world.ocn.ne.jp)



## 「職業料理人」

この執筆のお話をいただいた時、真っ先にお断りをいたしました。ただ、再度会報誌を読み、原稿のタイトルがMy Wayと言うページだとわかり、「周りになんと言われようがやりたいことをやる」と言う気持ちでなった料理人である私なら少しは書けるかと思い、この執筆をさせていただきました。

まず、高高を卒業して大学に行き、なぜ今料理人をやっているのか。それは、やはり実家が飲食店を経営しているという方が大きいと思います。

小さい頃から、身近にいろいろな食材や厨房があり、そこが子供の頃の遊び場でありました。物心ついた頃から料理をすることが好きで、よく両親のご飯や自分の夕飯を作っていました。ただその時に料理人になるという決意があったわけではなく、学生生活を送りながら、将来どんな仕事がしたいか考えていました。

親から実家を必ず継いでくれと、当時は言われていたわけではなく、ぼんやり実家を継ぐのかなと感じながらも、他にやりたいことがあれば、そちらに進もうというつもりでいました。

しかし、大学卒業時は就学・就職氷河期と言われていた時期もあり、手に職をつけようと思い、小さい頃から好きだった料理の世界に入ることに決めました。当時の料理の世界は今で言うなれば多くがブラック企業だったかもしれません。朝から晩まで仕事をしていた気がします。休みの日もレストラン巡りなど、常に料理の事だけを考えていた時期でした。

そんな時、いつしか自分の店を持ちたいと言う夢ができ、私の場合は実家が飲食店だったこともあり、そこを継ぐということが仕事をする上での自分の目標になりました。ただ、実家は和食や中華を中心でしたが、私は洋食が大好きで、洋

食料理も出したいと思い、イタリア料理を中心に勉強しました。

イタリアに研修に行った際に感じたことは、イタリアにはどの地方にも、どんな田舎にも素晴らしいレストランがあり、わざわざ遠くからお客様が来るようなレストランのクオリティとオリジナリティがあったということです。他を真似るのではなく、その土地の風土に合った料理を提供するといった人々であり、場所がありました。

そして、それがそのあの私の料理人生における方針にもなりました。

高崎高校を出て料理人をしている人は少ないかもしれません。三年前群馬に戻って来た時も、さまざまな方に「何故、高高を卒業したのに料理人をやっているの?」とよく言われました。私からしたら大した問題ではなかったのですが、興味をもってくれた方はたくさんいました。自分はただ自分に合っている仕事、やりたい仕事をしたまでの事でしたので、正直返事にいつも困っていたのを記憶しています。

料理は人を笑顔にできます。人を幸せにできます。料理という仕事は、私にとってどんな仕事よりもやりがいと楽しさがあります。

今でもたまにきかれますが、Going my own way、まさに我が道を進むだけです。

話はかわりますが、私は高高の硬式野球部に所属しておりました。休みが不定期だった自分は毎年開かれた野球部

の集まりにも全く参加できず、みんなと疎遠になっていました。

しかし、群馬に帰ってきて真っ先にお店に食事に来てくれたのは高高の野球部の仲間でした。ほんと嬉しかったです。今では高高野球部OBチームである翠巒クラブにも所属させてもらい、そこで、年代を問わない多くの諸先輩方と知り合うことができました。そのようなご縁もあり、今の仕事にもその方々との繋がりで、とてもお世話になっています。

今は地域密着の小さなレストラン(それが一番大切ではあります)ですが、この先、色々な人達との出会いを大切に、群馬県内、そして県外からも来ていただけるようなお店にしていきたいと思っております。

皆様も榛名に来た際は是非お越しください。

最後にこのような執筆の機会をいただけたのも、翠巒クラブのおかげです。この出会いに感謝いたします。

ありがとうございました。



△ 店舗外観

◆ 95期硬式野球部同期と



KAI bousai Inc.  
株式会社 甲斐防災

〒370-3531 高崎市足門町725-16 TEL.027-373-3915

消防用設備の工事・点検  
お任せください!  
代表取締役 甲斐 俊輔

(陸上部OB会長 87期)



# 青春の糸 硬式野球部

KIZUNA 伊藤 裕介(87期)

## 3人の監督

高崎高校を卒業してはや36年、現在55歳となり、人生の折り返し地点を過ぎたこのタイミングで、執筆の機会をいただき、ありがたく原稿に向かっている。

思い起こせば、高校3年間の勉学のことなど、全くと言っていいほど覚えていない。覚えているのは、在籍していた硬式野球部の苦しい練習と、夏季大会で前橋高校に2-0で勝利したことくらいだ。

当時の練習は本当に辛く、練習終わりに和田橋を渡る際、明日は辞めようと何度も、思ったことだろうか。辞めようと話していた部員で、実際に辞めた部員もいた。

私の場合、勇気がなかったのか、根性があったのか、わかりませんが、家に帰つて寝ると、次の日、いつものように学校に向かい、いつものように平然と練習に参加していた。

2年4ヶ月の硬式野球部生活において、我が代は、2人の監督に指導をいただいた。

最初の監督は、鈴木弘康さん(78期)である。どんな野球を目指していたかというと、相手に打ち勝つものであった。練習というと、バッティング練習としごきのような走り込みが中心であったと思う。間違っていたら、申し訳ございませんが。

次の監督は、小林俊之先生(76期)である。我が代は、小林チルドレンの長兄と言える。小林先生からは、鈴木さんとは正反対の野球を教わった。どちらかというと、無駄を省き、より実戦的で、小技などの緻密な野球を目指していた。

我が代は、2人の監督の良いとこ取りのミックス型チームとなり、大会において、以下の実績を残すことができた。

### [大会結果]

夏季西毛リーグ	優 勝
秋季大会	ベスト4
春季西毛リーグ	準優勝
春季大会	ベスト4
夏季大会	ベスト4

以上、輝かしい成績を収めることができたのである。

しかし、我が代は欲がなく、どうしても優勝したいと考えていた選手は1人もいなかったのではないかと思う。もし、もっと欲があったなら…もしかしたら、行けてしまうか?とふと思う時がある。

私は今でも野球を続けている。高崎高校硬式野球部OBのみ所属が許されるチーム、翠巒クラブで活動している。41歳~68歳が在籍するチームで、実業団軟式野球の県大会出場を目指し、日曜日を中心練習、試合を行っている。

このチームには、高校時代の監督である鈴木さん、小林さんも在籍している。

私がマウンドに立ち、鈴木さんがファーストを守り、小林さんがライトを守ることもある。その場面における一球一球が最高である。

3人目の監督は、清水正郎総監督(75期)である。

翠巒クラブは、私の一言を、清水さんが全てを取りまとめていただいた結果、発足となった。今シーズンで15年目を迎えている。

野球を続けている今、2人の監督と総監督に感謝しかありません。いつもありがとうございます。

最後になりますが、私の夢を述べたいと思います。いつか翠巒クラブ成年を発足し、選手兼監督となり、念願の県大会で優勝することです。

皆、マグロになろう。



KIZUNA 原澤 一壽(96期)

## 高高野球部時代を振り返って

今年の春、健大高崎が選抜甲子園大会で優勝し、高崎の地に初めて優勝旗がやってきました。高校野球の話題になると、自分たちの代のことを思い出したり、つい熱が入ってしまったりします。私が高校3年生だった1996年当時は、まだ群馬のレベルはそれほど高くはなかったですが、その後、夏の甲子園で1999年に桐生第一、2013年には前橋育英が全国制覇しており、健大高崎で群馬県勢としての日本一は3校目となります。群馬の野球レベルも高くなっていることを実感しています。今回、縁あって原稿を書く機会をいただいたので、改めて高高野球部時代を振り返ってみたいと思います。

高高といえば「文武両道」を掲げ勉学



### 株式会社 シビル設計

CIVIL Design office Co., Ltd

代表取締役 根岸博昭(卓球部67期)

高崎市石原町1753-33 TEL027-324-1456

### SYSTEM HOUSE 株式会社システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ4-B  
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480  
URL <http://www.sysh.jp/>

### 文武両道・3F精神全開! がんばれ、卓球部

卓球部OB会一同

にも部活動にも熱心に取り組める環境ではありましたが、小学校から野球をはじめてどちらかというと勉強が得意ではなかった私は入学時から部活動をしに学校へ通っていた気がします。1年生時は60名ぐらいいた部員数が、ちょうど私立高で長髪が許されはじめた時期と重なり我々高野球部は坊主頭だったので敬遠されたのか後輩があまり入部せず3年生時は35名程度でした。部員数こそ少なったものの1年生部員も多数ベンチ入りし、第78回夏の大会に臨みました。

初戦となった2回戦は安中実業との対戦。中盤までは互角の戦いでしたが、終盤にビッグイニングで大量得点し、10-3で勝利することができました。改めて振り返ると、このビッグイニングの勢いがその後の予期せぬ(?)躍進の契機になったのかなと思います。続く3回戦の桐生西には12-4、4回戦の関学大付にも10-6、準々決勝となった太田工でも13-7と4試合連続の2ケタ得点で、10年ぶりのベスト4進出となったのです。個々の力では強豪校に劣るものの、1年生も含め毎試合5、6人の選手が入れ替わる総力戦でヒットを打ちまくり、その年の最多安打、合計最多安打、最高チーム打率(0.363)を記録しました。相手投手に恵まれた面はあったものの、勢いに乗ったときのチーム力を感じたものです。もちろん、当時の指揮をとっていた樽見部長、佐久間監督の戦略や采配、そして選手を奮い立たせるご指導の賜物であることは明らかであります。

うつすらと甲子園を意識してしまった準決勝では初回に満塁ホームランを打たれると打線も沈黙し大敗。試合の中で「研究されているな」と感じるもそれを撥ねかえす力はなく完全に力不足でした。

もうあの熱狂から30年近く経つことが信じられませんが、あのときの仲間は一生の仲間と断言できますし、今でもことあるごとに交流があり当時の話に花が咲きます。一瞬だけど、永遠の夏。我

らが青春の日々です。

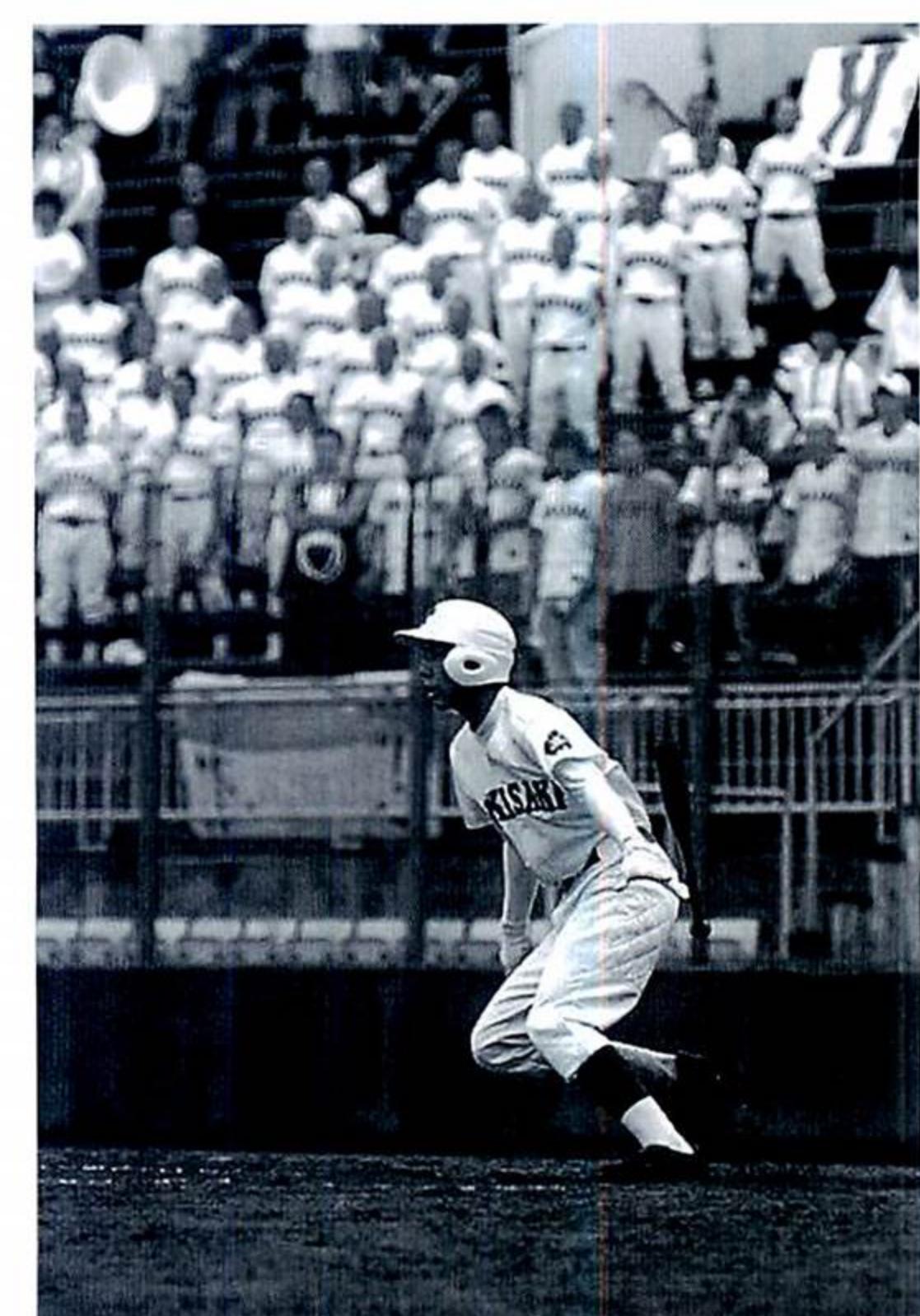


**KIZUNA 堀口 泰幹(106期)**

### ”谷間の世代”と呼ばれて

何とも淡く、それでいて熱い想い。当時に思いを巡らせると、そんな感情が胸に湧き上がってくる。“青春の1ページ”と言う様なキラキラしたものでは無かったが、毎日の授業と練習に疲れ果て泥の様に眠りながらも、本当に充実した日々だったと思う。

入部した際、2学年上に兄があり、守備位置も同じライトだった。少年野球、中学軟式と同じチームだったものの、高校生という年頃のせいか、少し照れくさく感じたことを覚えている。その代では、エースの藤巻さんを軸に夏の大会で準決勝まで勝ち上がった。結果前回にコールド負けしてしまったが、甲子園への道が意外にも近いと感じ、自分達もうまく行けば手が届くのでは?と無邪気にも思い描いていた。一つ上の代は、前年から上位打線を担った戸塚さん、加藤さん、佐々木さんの3人を中心に、非常に能力の高いメンバーが揃っていた。前年にベスト4まで勝ち上がったのだから、本気で甲子園を狙えると思っていたが、大会本番ではどうにも歯車が合わず、夏の大会も2回戦であっさりと負けてしまった。私はと言うと、外野でレギュラーを最後まで争ったのだが、結局先輩のレギュラーに掛ける執念を越えられなかった。そして迎えた最終学年、上下の代の能力が高く、我々の代は大須賀監督から“谷間の世代”と呼ばれ(良い意味で発破をかけられていた)、同期のレギュラーも4人のみ。それでも、最後の夏の大会は守りの野球で何とか準々決勝まで勝ち上がり、2年前と同じ前回戦を迎えた。毎回の様にチャンスを作られる痺れる展開ながら、2年生の長井、茂木バッテリーを中心に凌ぐ。こちらも140キロ前後の速球派エース



右腕を前に何度もチャンスを作ったが、最後の一本が出ない。息詰まる投手戦が続く中、8回表に相手の3番打者にソロホームランを許し、万事休す。そのまま0-1で敗れた。

その年の甲子園は記憶に残る年であった。決勝戦では早実と駒大苦小牧が死闘を繰り広げた。その後プロの世界でも巨人の坂本選手、デトロイト・タイガースの前田投手をはじめ、88世代と呼ばれる世代となった。私はその後大学でも野球を続け、当時甲子園で活躍した選手達と対戦した。同じリーグで“ハンカチ王子”こと斎藤投手とも何度か直接対戦する機会を得たのだが(結果は完敗…)、その人気ぶりは同じ学生とは思えないものであった。

当時を思い返すと、記憶に残るシーンが3つある。

1つ目は、清水寺での階段ダッシュ。冬になると毎週末、一通りグラウンドでの練習を終えた後、全員で“キヨミズ”に向かい(つい最近の同期との話の中で、実は“セイスイジ”であることが判明したのだが…), ただひらすら階段を駆け上がる。階段の上には、赤いグラコンとジャージを来た大須賀監督、毒島部長が座って談笑している。その姿は見て、みんなで赤鬼と呼んでいた。

山岳部OB(79期)

代表取締役・一級建築士 須川 光一  
リフォーム工房 | 一級建築士事務所  
**株式会社 スカワ**  
創業60年・地域密着リフォーム専門店

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫  
税理士法人 真下経営  
高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一  
吉井会計事務所  
高崎市上中居町1646-1 TEL 027-386-5500

2つ目は、夏合宿のアメリカンノック。35度を超える灼熱の暑さの下、1対1の個人ノック。フライを40本捕らないと終わらないが、ノッカーも疲れてくるとゴロが増え、捕ってもカウントされないので無駄に走らされる。暑さと息切れで朦朧とする中、40本捕り終わるとその場に倒れ込み、空を見上げた。

3つ目は、敷島球場での最終戦。前回に敗れベンチを後にする際、最後にグラウンドに一礼しようとしたところ、同期の金田が球場に響き渡る様な大声で

挨拶をしていた。その日は梅雨の明けきらない曇り空だったが、その時の情景と匂いが、夏になるとふと蘇ってくることがある。

高野球部の同期とは、卒業以来、毎年必ず年末に集まり、くだらない話をしながらお互いの近況を報告してきた。卒業から15年余りが経ち、子供を持つ同期も増え年末の夜に集まりづらくなつたので、昨年から時期を変えた。折角だからと先輩後輩の代にも声をかけたところ、4世代での集まりとなった。嬉し

いことに20名以上も参加してくれたので、昼に河川敷のグラウンドを借りて野球の試合をやり、夜は懇親会と大盛り上がりであった。今は別々の場所でそれぞれの人生を歩んでいるが、当時あのグラウンドで同じ時を過ごしただけで、10数年ぶりに会ってもすぐに当時の感覚に戻り打ち解けられた。特に同期は毎年会っているが、何かあれば頼れる仲間であり、それが高校時代の一番の財産だと思う。これからも年に一度は集まりたい。

## 2023事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

- 4月 11日 ● 第1回役員会議  
(グランビュー高崎)
- 13日 ● 第1回編集会議(翠巣会館)
- 5月 4日 ● 関東大会出場祝金贈呈  
ソフトテニス、陸上、柔道、  
相撲、バレー(高崎高校)
- 6月 6日 ● 監査役会  
(アートマルシェ)
- 6日 ● 第2回編集会議  
(アートマルシェ)

- 6月 13日 ● 第2回役員会議(翠巣会館)
- 22日 ● インターハイ(ソフトテニス)  
関東大会(水泳)  
出場祝金贈呈  
(グランビュー高崎)
- 22日 ● 第49回定期総会  
(グランビュー高崎)
- 22日 ● 翠巣体育第42号発行
- 7月 28日 ● 北関東大会出場祝金贈呈  
軟式野球(高崎高校)
- 8月 3日 ● 第33回ゴルフ大会  
(サンコーカントリークラブ)

- 10月 26日 ● 関東大会出場祝金贈呈  
陸上、空手(高崎高校)
- 26日 ● 若手を増やす会(W.F.K.)  
(アートマルシェ)
- 11月 7日 ● 高崎高校マラソン大会  
優秀者表彰(高崎高校)
- 12月 4日 ● 翠巣体育会忘年会  
(グランビュー高崎)
- 1月 1日 ● 高崎高校卒業式(高崎高校)

### 第49回定期総会・懇親会

水泳部／新藤 洋一(81期)

昨年の6月22日。翠巣体育会の総会が開かれました。今年は、4年ぶりに懇親会が開かれることになり、全体では78名、水泳部からは5名が参加しました。

総会は事業報告・会計報告、事業計画案・予算案が審議され、時間通り滞りなく進みます。その後、OBの活躍の近況などが報告されました。

いよいよ4年ぶりの乾杯に。まずは会長の挨拶。久しぶりの懇親会開催に、感無量だったのでしょう。いつも増して力強い挨拶でした。

続いて高崎市長の富岡賢治先輩が挨拶。パワーみなぎる挨拶が止まりません。

次は、私と同期であり、中学も同じ富岡中だった小林校長が挨拶。高1年の時も同じクラス。はじめて勉強が出来るだけでなく、美術の授業の油絵が突出したうまさだったのを覚えています。そして最後は、坂本同窓会長の挨拶。

いやー、乾杯までが長いこと長いこと。とても熱い夜でした。

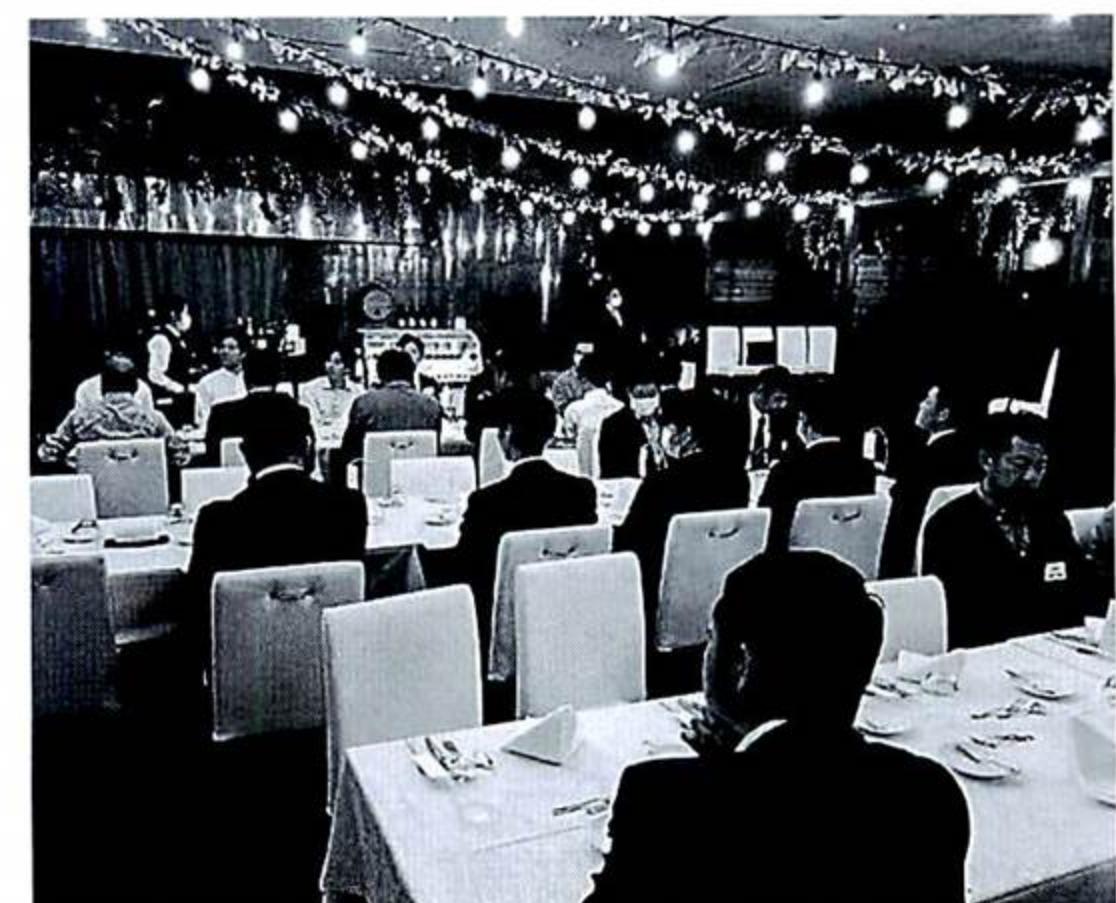
### 若手を増やす会(W.F.K.)

卓球部／筒井 信貴(110期)

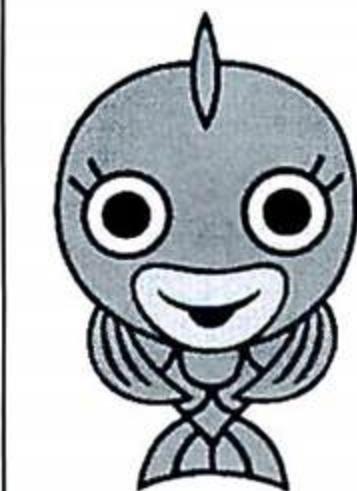
卓球部の後輩から「知り合いが少なくて心細いから参加できませんか?」と誘われたことをきっかけに、若手を増やす会(以下、W.F.K.)というものに初めて参加させていただきました。

参加してみると実に幅広い世代の

方々がいらっしゃいました。ただ正直に言うと、私の知り合いは卓球部のその後輩しかおらず、私自身もそれほど社交的ではないため、終わりの時間まではほぼ独りで心細い時間を過ごすのではないかと内心は不安でいっぱいでした。しかし参加者の方々は気さくな性



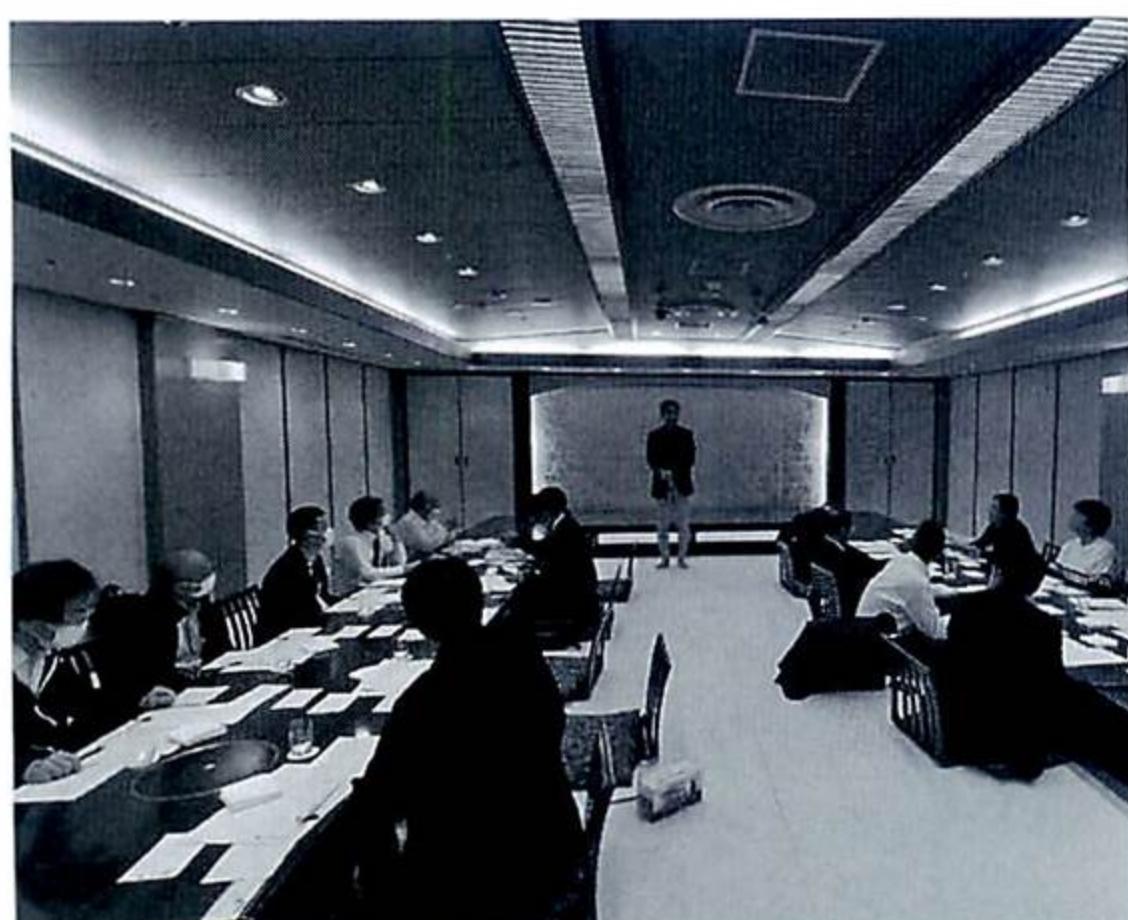
高崎駅西口  
**木屋駐車場**  
TEL 027-322-5712  
〒370-0052 高崎市旭町128  
鳥居 吉二(柔道部 73期)



**株式会社広田住宅センター**

高崎市田町92(群馬銀行高崎田町支店向かい)  
TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181

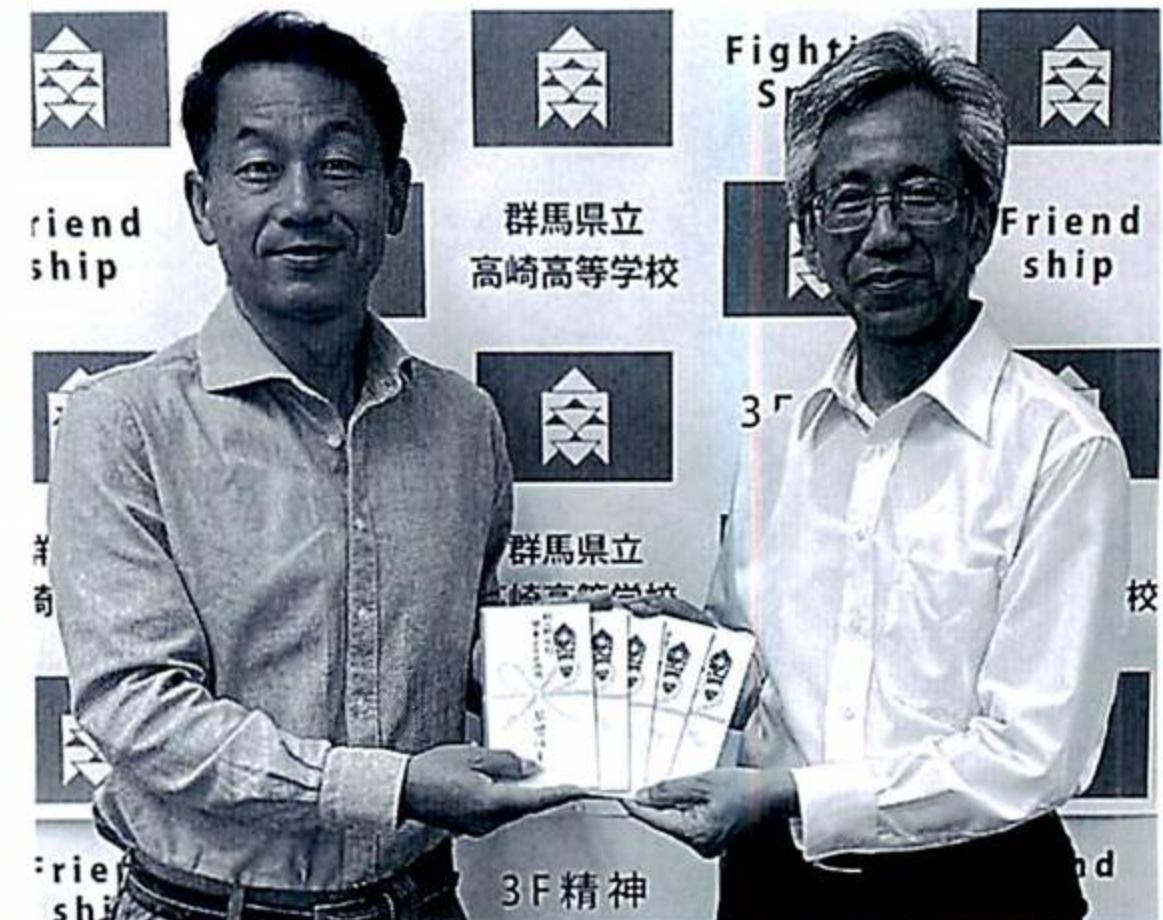
代表取締役 広田 金次郎(柔道部 95期)



●第一回役員会議



●第一回編集会議



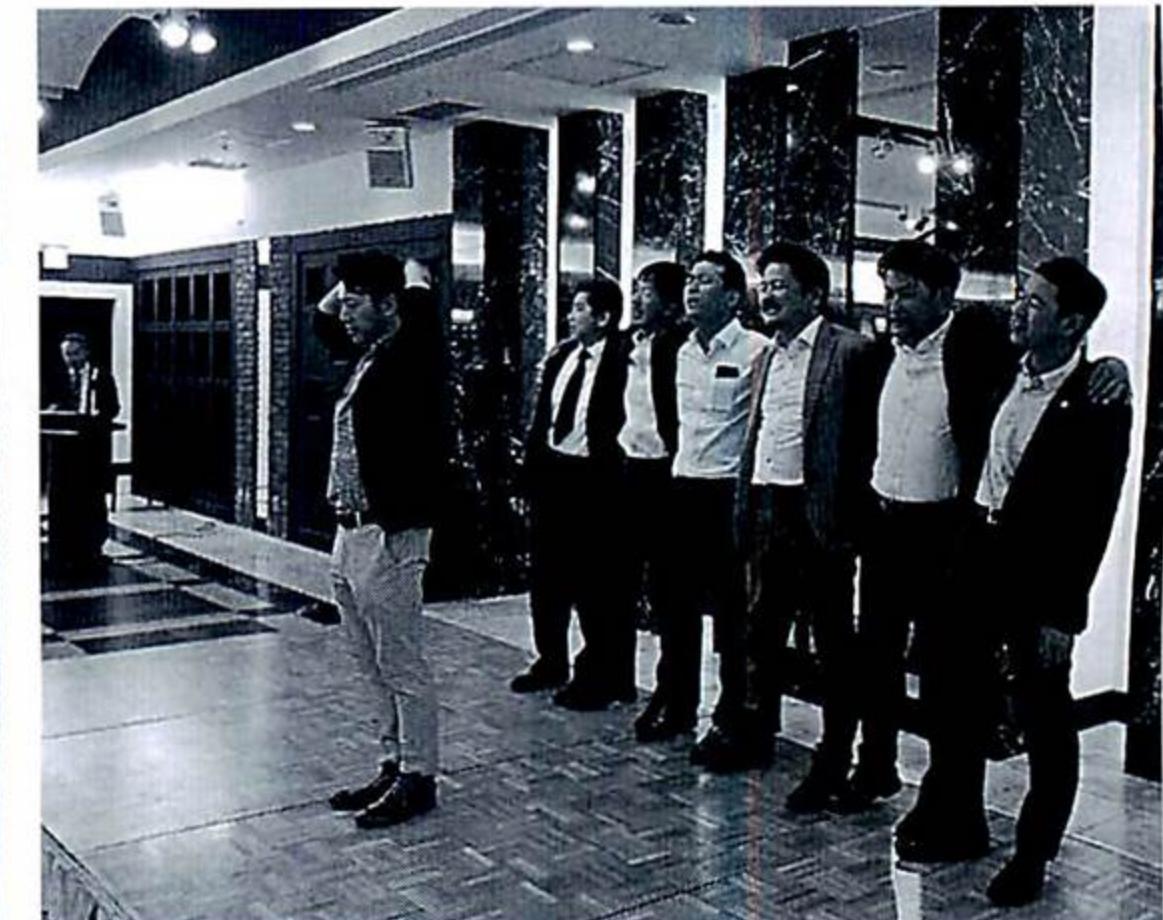
●関東大会出場祝い金贈呈



●第49回 定期総会



●懇親会



●懇親会

格の人が多く、中には遠くのテーブルからわざわざこちらのテーブルまでお越しになって話かけてくださる方もいらっしゃいました。そういった方々のご配慮のおかげで美味しい料理に舌鼓を打ちつつ、高校時代の思い出話に花を咲かせ、最後まで安心して楽しむことができました。

卒業してしまうと高校時代の知人とも疎遠になりがちで、高校時代の思い出を語り合う機会もなかなか作れません。しかしW.F.K.は幅広い世代のOBの方々と思い出を語り合う機会に最適です。長らく疎遠だった友人や先輩・後輩に会えるかもしれません。素敵なお縁をいただくこともあるかもしれません。そんなW.F.K.にもし興味が湧きましたら是非ともご参加ください。

### ○ 第33回ゴルフ大会 団体優勝

サッカーパー／遠山 昇(79期)

ゴルフの宿命のライバル、  
サッカーパーと野球部

翠巒体育の皆さんには知っている通り、サッカーパーと野球部は部室が近く、グランドが隣り合わせなので、高校生の時は常にお互いの練習や試合を意識していました。翠巒体育ゴルフ大会では野球部がいつも勝っていたのですが、今回はサッカーパーが勝利できてサッカーパーOB一同喜んでいます。ゴルフプレイでは、野球部OBの方達の、バックスクリーン直撃のホームランを彷彿させるようなドライバーショットは実際に見事で、私はいつも見取れてしまいます。しかし、サッカーパーには、アプローチの名手、81期の渡辺君がおり、どんな場所からでも1パット圏内に寄せてしまいます。サッカーボールとゴルフボールでは違いますが、彼のボールコントロールセンスは高校生の時から抜群でした。実際私は、渡辺君がPKを外したのを見たことがありません。先日のワールドカップ・カタール2022で日本代表のPKの場面では、「ここで渡辺俊裕をピンチキッカーで使ってくれー！」と思わず叫んでしま

いました。今年も翠巒体育ゴルフ大会は『サッカーパー2連覇できたらいいな』と思っています。

### ○ 第33回ゴルフ大会 個人優勝

応援部／岩崎 聰(85期)

今回、幸運なことに個人戦で優勝することができ、一緒にラウンドした方々や大会を開催していただいた事務局の皆様に感謝しております。

### ●団体戦

順位	運動部名	GROSS	HDCP	NET
1	サッカーパー	337	34.8	302.2
2	ラグビー	348	52.8	295.2
3	硬式野球	351	49.2	301.8
4	陸上競技	351	48.0	303.0
5	スキー・スケート	352	52.8	299.2

### ●ネット個人戦

順位	氏名／運動部名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
1	岩崎 聰(応)	43	43	86	16.8	69.2
2	立見友孝(籠)	34	41	75	4.8	70.2
3	橋爪洋介(卓)	36	35	71	0.0	71.0
4	庭田登志男(柔)	42	51	93	21.6	71.4
5	須川光一(山)	50	48	98	26.4	71.6



**GUNKYO**

株式会社 群協製作所

代表取締役社長 遠山 昇(サッカーパー 79期)  
専務取締役 遠山 雄彦(バレーパー 84期)

<http://gunkyo.co.jp>

めまい・補聴器・アレルギー・各種臼帰り手術  
**清水耳鼻咽喉科**  
院長 清水 祐二(サッカーパー 73期)  
●診察時間 午前 9:00~12:30/午後 2:30~6:30  
●休診日 日祝祭日・木曜日終日・土曜日午後  
高崎市京町321-4 ☎027-353-4533  
<http://www.shmz-ent.com/>



社会福祉法人 愛善会

はなだか

かみたき  
鼻高こども園 上滝こども園

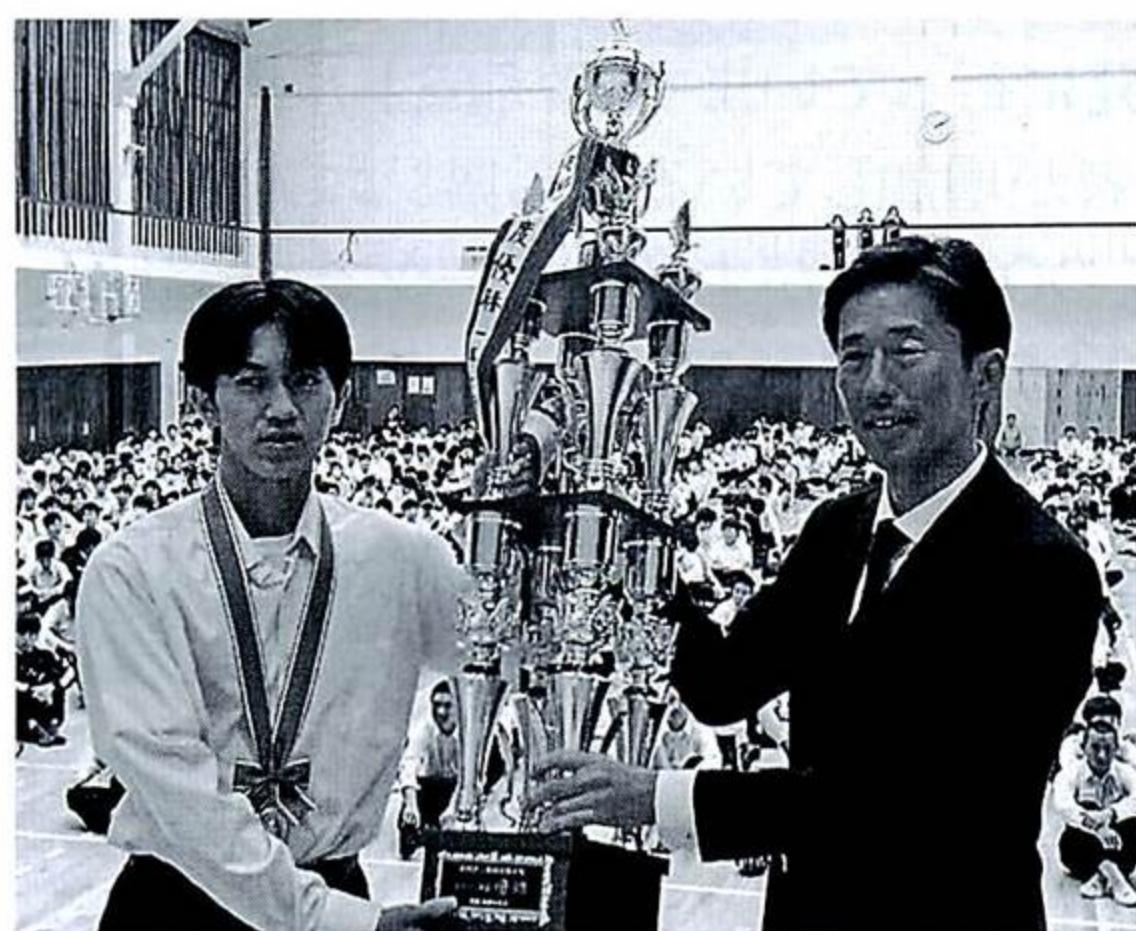
國峯 善次郎(50期) 國峯 賢一(74期) 國峯 義仁(106期)  
(サッカーパー) (サッカーパー) (和太鼓部)



●第33回ゴルフ大会



●ゴルフ大会団体優勝 サッカーチームOB会



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●3F会館 設備修理費 寄付金贈呈

応援部は優勝したこともあるのですが、今回はメンバーが揃わず、残念ながら団体戦に参加できませんでした。逆に団体戦の戦力にならなくてはいけないというプレッシャーがなかったので、気楽にラウンドできたのがよかったです。

最近はグリーン周りでの寄せがうまくいかず、ダボやトリを連発してメンタルをやられてしまいスコアを崩してしまっていました。今回は後輩とのラウンドで、めげずに最後まで粘ってプレーしてパーも多く取れたので、ハンデが味方してくれたのだと思います。

最後になりますが、コロナ感染症の対応が5類に移行してみなさんが待ち望んでいた表彰式を開催していただいたにも関わらず、参加できずに申し訳ありませんでした。これからも盛大に大会を開催されることを願っています。

また、翠巣体育会、高高同窓会そして母校の益々の発展をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

**目指せ! 全国制覇**  
**チャレンジ** ソフトテニス部  
高崎高校  
高中庭球部応援歌より  
あゝ東西の両洋に テニスの覇者をうたわれし  
好漢清水を出したる 我等は高中健児なり  
ソフトテニス部 OB会

### 翠巣体育会忘年会

ソフトテニス部／梅村 唯斗(106期)

令和5年12月4日(月)午後7時よりホテルグランビューハイにて翠巣体育会忘年会が開催されました。

同年5月より新型コロナウイルス感染症も5類感染症へと移行し、部活動も本格的に活動をしていくける情勢となっていました。

会長や各部それぞれの紹介や活動報告を聞き、高校時代にはなかなか感じることができなかったOB会の大切さを知ることができました。また、様々な年齢の方や業種の方と話す機会もありましたのでとても良い勉強になりました。

今後も後輩たちが少しでもより良い環境で部活動に励めるようにOBとしての役割をそれぞれが担っていけるよう、若い世代も積極的に取り入れながら翠巣体育会の発展に貢献していきたいと考えています。

### 令和5年度 翠巣体育会会計報告

#### 収支計算書

(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)

科 目	金 額	摘 要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	315,000	15部
親睦会収入	260,000	令和5年6月22日 ホテルグランビューハイ
ゴルフ大会収入	226,600	令和5年9月3日 サンカントリークラブ
翠巣体育忘年会収入	270,000	令和5年12月4日 ホテルグランビューハイ
雑 収 入	482,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金等
受取利息	3	群馬銀行
(当期収入合計)	(2,228,603)	
特別会計取崩金	0	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	683,457	
収入の部合計	2,912,060	

科 目	金 額	摘 要
支出の部		
総会・親睦会費	530,500	令和5年6月22日 ホテルグランビューハイ
現役等補助金	343,899	関東大会、インターハイ等 出場の運動部 マラソン大会
会報発行費	470,800	「翠巣体育」第42号
ゴルフコンペ費	170,230	令和5年9月3日 サンカントリークラブ
翠巣体育忘年会費	343,000	令和5年12月4日 ホテルグランビューハイ
WFK(若手を増やす会)	198,000	令和5年10月26日 アトマルシェ
慶弔見舞金	87,000	生花等
事務用品・通信費	31,466	ホームページ管理費等
会議運営費	331,250	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	660	群馬銀行
(当期支出合計)	(2,506,805)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,506,805	
(収支差額)	(△278,202)	(当期収入合計) -(当期支出合計)
次期繰越収支差額	405,255	収入の部合計-支出の部合計

#### 財産目録 (令和6年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
現 金	1,670	現金手許有高
預 金	403,585	群馬銀行高崎栄町 (普用0783238 一般会計分)
正 味 財 産	405,255	

#### 特別会計 (令和6年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
普通預金	801,539	群馬銀行高崎西 (普用0593363 特別会計分)
特別会計財産	801,539	

1級建築士事務所 群馬県知事第2146号  
有限会社 田口総合設計  
創業57年 群馬県知事(16)98号  
有限会社 田口不動産 1級建築士 田口恵一  
(74期 ソフトテニス部 OB)  
〒370-0846 高崎市下和田町一丁目1番1号 TEL 027-322-2492

### 木村動物病院

高崎市吉井町池1369-1

TEL 027-387-2520

### 城南大橋どうぶつ病院

高崎市寺尾町2623-6

TEL 027-384-3000

72期・100期 ソフトテニス部 OB

# OB 各運動部OB会の近況報告



スキー・スケート部  
寺澤 佑介  
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。

スキー・スケート部OB会では、

長らく会長を務めて下さった神保裕之さん(83期)が会長職を退任され、佐藤雄一さん(86期)が新会長に就任されました。

神保さん、長い間、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

そして佐藤新会長のもと、スキー・スケート部OB会が益々発展し、現役生の力になれるよう、OB一同努力してゆきたいと思います。

佐藤さん、宜しくお願ひいたします。

さて、昨年は新型コロナウイルスの蔓延で実に三年もの間、中止になっていたOB総会、懇親会を久方ぶりに開催することができました。

高崎市内、魚として十一月十八日に開催し、OB十七名が集り、昔話や近況報告で盛り上りました。OB会の方で以前行ったスキートレーニングに参加してくれた、大学四年生のOBも参加してくれました。

翌十九日は有志でゴルフを行いました。

OBの皆様、関係者の皆様の益々のご健勝をお祈りしております。OB会の方、どうぞこれからも宜しくお願ひいたします。



サッカー部  
佐藤 雄一  
(97期)

サッカー部OB会は、活動の柱である「現役生との交流・支援」として従来から「初蹴会」、「総会・新年会」、「前橋高校サッカー部OB会との交流戦」という恒例行事を実施してきましたが、新型コロナ感染症の影響により約3年の間休止していました。しかし、昨年は令和5年9月にまず令和5年までの総会を行い、



芸大・美大・美術系高校受験予備校  
**高崎美術学院**  
社会人のための美術教室  
**アートフォーラム高崎**

同時に懇親会も開催しました。また、令和6年1月2日には和田橋グランドにて恒例の初蹴会、2月にはグランビューカリコにて令和6年の総会と新年会を開催したところ、コロナ前と変わらず多くの参加者があり、特に懇親会や新年会では旧知の会員同士が久しぶりに懐かしい話に花を咲かせる楽しい時間となりました。さらに、OB会として約4年ぶりに現役生保護者会へ参加させていただき、サッカー部の伝統を保護者の方と共有する貴重な機会となり、OB会活動もコロナ前の日常を完全に取り戻すことが出来たと感じています。

また、「会員の交流」として、引き続き現在40歳以上を対象とした「翠龍ミドルFC」、さらに50歳以上を対象とした「翠龍FC50」の活動を活発に行っています。翠龍ミドルFCと翠龍FC50は、近年、登録者が増加している群馬県シニアサッカーリーグに所属し、多くのOB会員が生涯スポーツであるサッカーを存分に楽しんでいます。特に、翠龍ミドルFCは、昨シーズン1部リーグに所属し、県内の強豪チームと凌ぎを削りました。若い世代も徐々に参加者が増えており、地元群馬でサッカーを継続できる貴重な受け皿となっています。さらに多くの参加希望者をお待ちしています。

最後に、サッカー部OB会員数はいよいよ1000人の大台に到達しようとしています。大所帯になりますが、これからも良き伝統を継承しつつ、新たな時代にあった活動のあり方を模索し、「現役生との交流・支援」「会員の交流」という目的を果たしていきたいと考えています。



卓球部  
高橋 秀仁  
(107期)

OB諸兄及び関係者の皆様には、日頃から大変お世話になっております。107期の高橋です。昨年に引き続いて私から活動報告いたします。ここ10年くらいは若手を中心としてこの活動報告をお願いしているところで、なるべく違うメンバーにやってもらおうように心がけております。

今回、活動報告を作成するに当たり、令和5年度高校総体の結果を見てみました。団体では7位、シングルスではベスト

〒370-0044 高崎市岩押町 35-12

☎027-322-6548

<http://www.art-takabi.com>

代表 北村 真行

〒370-0044 高崎市岩押町 31-11

☎027-326-5585

<https://www.artforum-t.com>

(テニス部 85期)

32と健闘しており、OBとして誇らしく感じました。団体では2年連続のベスト8入りです。今後も引き続き頑張ってもらいたいと陰ながら応援しております。

さて、卓球部のOB会は夏と冬で年に2回、現役生との交流試合を行っています。交流試合は、最初にリーグ戦を行い、その後リーグ戦の順位ごとに順位決定トーナメントを行います。最低でも4戦程度は試合ができます。また、その日の夜に懇親会を行い、OB同士の親睦を深めております。

私がOB会の活動に携わって7、8年くらい経ちました。そこで感じていること等を述べてみます。これを読んで卓球部のOB会の参加のきっかけとしてもらえればと思います。

現在の卓球部OB会の状況についてです。若手が少しずつではありますが、大学生や20~30代社会人がOB会に顔を出す人数が増えつつあります。以前に比べると若手OBが参加しやすい雰囲気になってきているのかなと感じています。卓球が上手でなくても構いません、また地元に住んでいなくても構いません。若手OBの参加をお待ちしております。懇親会だけ出てみると、最近ゴルフ始めたからゴルフコンペだけ出てみようかなとかでもOKです。私自身はOB会に参加することで、年が離れた友人や異業種の知人・友人ができ、人生がより豊かになったのではないかと思っています。

ここ数年コロナ禍の影響で満足にOB会活動が行えておりませんでしたが、昨年度は交流戦を4年ぶりに開催するなど徐々に活動を再開させております。私自身も、昨年は交流戦に参加出来なかったので、今年こそは参加したいと心待ちにしております。



### 山岳部

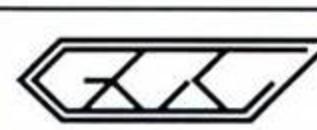
吉井 章一  
(78期)

ようやくコロナの影響も明け、現役生との交流が再開致しました。例年どおり翠巒祭の期間中に会合を持ち、さらに夏合宿前には差し入れという形でOB会と現役生と関係を継続することができました。

しかしながらこの3年間接点がなかったということで、3年生であっても一度も顔を合わせなかつこととなります。OB会という組織の存在自体を伝える機会を失っていたことが大変残念に思えてなりません。

一方、OB会の山行としては、現役生と同じ山を登る機会が昨年と今年の2回計画できました。現役とOBの体力差が大きいため同じペースで行動するのはなかなか難しいところがありますが、このような機会を得て楽しめたことに意味があったと思いました。

また、個人的にはそれぞれの期で気の合う仲間と山登りをしております。日帰り温泉に入って疲れを癒やし、地元に帰って酒を酌み交わす等なかなか贅沢な時間かとご推薦致します。



群馬セラミックス株式会社

取締役会長 小貫 読 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市白石1444  
〒375-0055 TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974  
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1  
〒370-2111 TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678  
E-mail:onuki@guncera.co.jp  
<https://www.guncera.co.jp/>



腎臓内科・一般内科  
**島田クリニック**

院長 島田 明仁 (水泳部・69期)

〒375-0053 群馬県藤岡市中大塚172-7  
TEL.0274-23-0005 FAX.0274-23-0007

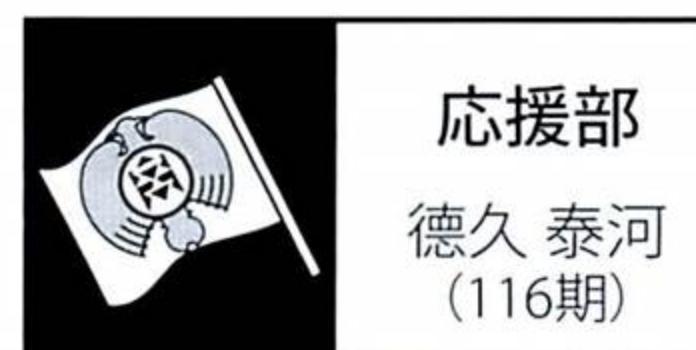


株式会社 山岸製作所

薄肉切削(旋盤)加工のエキスパート

専務取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)

浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 Tel.027-360-4100  
八幡工場 高崎市剣崎町21-1 Tel.027-387-0505



応援部

徳久 泰河  
(116期)

今年、県外で就職し、リモートワークを中心としたフレックスタイム制の働き方ができるようになったおかげで、OB活動に参加する機会が増えました。

高校卒業後、遠方の大学に進学したことでのなかなか参加できなかったのですが、今年は初めて翠巒祭での後輩たちの激励、OB総会、そして高校と中学校の全体同窓会に参加することができました。翠巒祭では、後輩たちが日頃の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。懐かしさと共に、部活動が脈々と受け継がれていることを嬉しく思いました。

OB総会では、社会人となった先輩方とお話しする機会があり、改めてその偉大さを実感しました。高校と中学校の全体同窓会では、OBの方々の母校に対する熱い想いに触れ、感銘を受けました。会場全体に響き渡る校歌は、私の心に深く刻まれる財産となりました。現役時代は、OBの先輩方の支援をあり



がたく感じつつも、時には疎ましく感じることもありました。しかし、今振り返ると、その支援がいかに貴重なものであったかがわかります。リモートワークを活用した多拠点での仕事と生活のため、毎回のOB活動への参加は難しいかもしれません。が、可能な限り関わっていきたいと考えています。大学での六年間を通して、先人の知恵と経験に学ぶことの大切さを痛感しました。自分の力を高めると同時に、先輩方や同級生、後輩たちとの繋がりを大切にしながら、母校の名に恥じぬよう日々精進していきます。OB会の活動を通じて、自分なりの形で母校に貢献できれば幸いです。



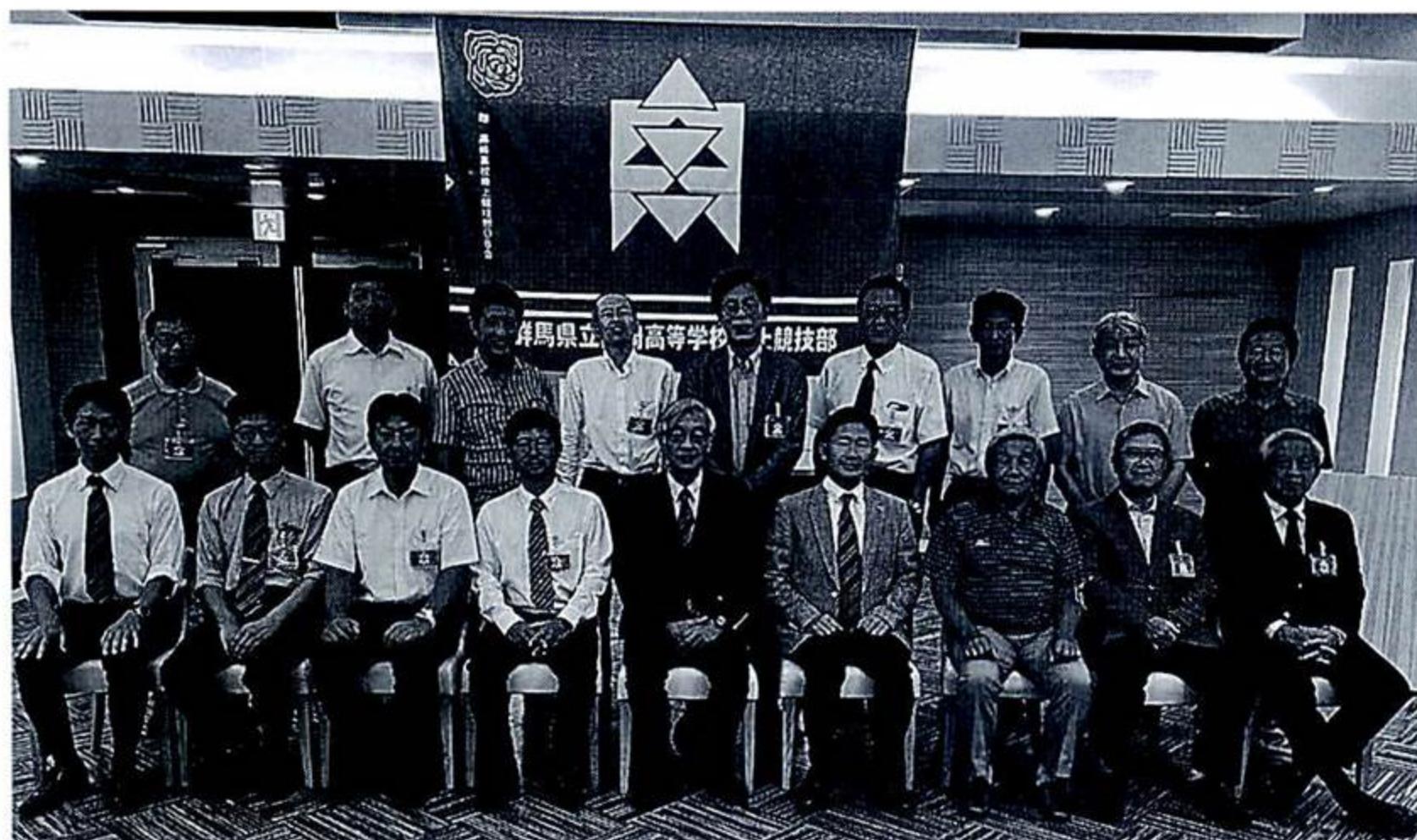
**陸上競技部**  
足立 晋  
(96期)

コロナ禍の中、OB会の活動の縮小を余儀なくされ、OB会総会も3年間開催できない期間が続きましたが、昨年6月27日に4年

ぶりにOB会総会を開催することができました。歴代顧問の高橋賢作先生、新井康司先生や高崎高校陸上競技部出身の現顧問稻垣圭吾先生にもご参加いただきました。稻垣先生から現役生の活躍についての報告や出席されたOB会員の方々の近況報告や現役生への激励金の贈呈も行うことができました。その他にも、OB会員による、現役生への支援、大会会場へ駆けつけての応援、卒業生への記念品(ネクタイ)の進呈といったこれまでの活動も行っています。

今年度も高校総体が終わり、高崎高校陸上競技部の選手も8種競技優勝の西君をはじめ、インターハイ出場をかけた北関東大会へ進出を決めています。この会報が発行されているころには北関東大会も終了し、その結果も会員のみなさまに届いているでしょうか。県内大会だけでなく、さらに上位の大会で活躍する現役生支援のために、これからもOB会を盛り上げていければと思います。

そのためにも、OB会総会にコロナ禍以前のようにたくさんの会員の皆様に参加し、会員同士のつながりを強めていきたいです。特に、若手の会員のみなさまの協力、OB会総会への参加をどうぞよろしくお願いします。



**株式会社根岸**  
根岸淳(75期)  
根岸彰(103期)応援部  
〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池77  
<http://hardwareshop.jp/>

大学受験・定期テスト対策  
**適塾**



**柔道部**  
伊藤 俊一郎  
(92期)

2024年の年明けは、昨年に引き続き、例年通り1月3日に現役・OBでの稽古始め、及びOB会新年会を行いました。

稽古始めは高崎高校柔道場にて、鳥居吉二OB会長(73期)と、学校から田中利明先生(2023年度から高崎高校通信制教頭)、小林裕貴先生(2023年度から)、川田智広先生、そして今回は大先輩の三浦俊郎さん(57期)が見守る中で行われました。

現在の柔道部は現役生が1年生2人の状況ですが、現役生・OBと見学者を含め、計38名が集まることが出来ました。稽古内容は、ランニング5分間、回転運動、寝技反復受取1分間×5本、寝技乱取3分間×8本、10分間の休憩、立技乱取4分間×5本×2セットを順に行いました。稽古終わりには鳥居会長の挨拶と、今回は特別に三浦さんからのお言葉をいただき、無事に稽古始めを終えることができました。

新年会は、会場をホテルグランビュー高崎にて、OB20人の参加で行われました。参加者の中には翠巒体育会ゴルフ会参加をきっかけとして今回OB会新年会に初めて参加していた田村健さん(79期)もあり、参加者は近況を報告し合いながら、お互いに交流を深め合う温かい時間を過ごすことができました。



**硬式野球部**  
戸澤 健  
(92期)

OB会活動3本柱の一つに「マスターズ甲子園」があります。その予選にあたる「第12回群馬県高等学校高校野球OB大会」が例年通り5月の連休に開幕。2024年5月5日の初戦・桐生南戦には、75期・清水正郎総監督をはじめ、母校の監督も務められた78期鈴木弘康先輩、そして118期の富加津聖君と馬場天良君まで計28名のOBが集まりました。

試合は初回に幸先よく1点を先制したものの、4回に同点に追いつかれ緊迫した展開に。しかし終盤にお得意の集中攻撃を見せ、終わってみれば 8-1 の快勝がありました。打撃陣は

でてこい、未来のリーダーたち。  
**四谷大塚NET** **QUIREO** プログラミング教室  
**CEBU流学** GUNMA ESPORTS研究所  
高崎駅前教室 高崎小鳥教室 高崎吉井教室 安中教室 富岡教室  
027-310-5514 027-363-8505 027-387-6200 027-382-3982 0274-62-5150  
[www.tekijuku.info](http://www.tekijuku.info) 塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)

大会名 打順表(西毛球場)			
年月日		監督	清水正郎
チーム名	高崎高校	相手	桐生南高校
打順位置	氏名(ふりがな)	背番号	
1 5	榎澤亮介	36	
2 9	小林直人	49	
3 6	櫻井慎也	46	
4 7	榎澤雅貴	44	
5 2	馬場天良	47	
6 3	松岡高秀	40	
7 4	高加洋聖	42	
8 1	堀井廉士	35	
9 8	根岸徹	32	

控え選手名			
氏名	背番	氏名	背番
清水崇	2	小池陽一郎	41
榎澤亮介	8	吉田稔彦	33
馬場天良	10	伊藤裕介	50
高加洋聖	17	宮西亮平	43
堀井廉士	24	飯島大樹	45
根岸徹	52	島崎和行	52

3番ショットの111期・櫻井慎也君が先制適時打を含む3安打を放ち、116期・松岡高秀君は左翼フェンスオーバーの2点本塁打。そのほか107期・根岸徹君、110期・榎澤雅貴君、117期・榎澤亮介君もマルチヒット。皆さんよくバットが振れていました。93期・小林直人君の、先制点につながる進塁打も最高でした。投手陣は114期・堀井廉士君、107期・吉田稔彦君、87期・伊藤裕介先輩、95期・小池陽一郎君と繋ぎ、散発5安打・1失点に相手を抑えました。投手陣もお疲れ様でした。

次戦は高崎工業との高崎対決です。

マスターズ甲子園大会は毎年開催されています。一人でも多くのOBの皆さんに参加していただき、皆で甲子園に行きましょう。

最後に、硬式野球部OB会はホームページ  
(<http://takataka-baseballclub.com/>)

を立ち上げています。現役生の大会日程やマスターズ甲子園大会の日程などを掲載しています。是非とも覗いていただき、現役生の応援やOB会の活動に参加していただければ幸いです。



剣道部  
瀧野修司  
(86期)

長らく影響を受けてきた新型コロナウィルスによる制限が解除され、ようやく通常の活動が行えるようになってきました。そのため、夏・春の遠征に伴う援助や1月3日に行っているOB稽古会と総会・新年会も、4年ぶりに開催することができました。

1月3日の稽古会は、現役生との体調不良者が多いということで、顧問の先生を交えたOB同士の稽古会としました。現役生がいないことで自分の高校時代を思い出しながら、21人が剣道場で剣を交えました。

OBの活躍としては、藤木正行前会長(69期)と角田芳昭先輩(75期)が昨年度の全国ねんりんピック大会団体の中心選手として準優勝、北野寛平先輩(105期)が全国教職員大会3位入賞を、それぞれ果たしました。1月3日の総会・新年会では、3名の祝賀会も兼ねて盛大に開催することができました。

また、中学教員で剣道部顧問のOBが勤務校の剣道部員とともに高崎高校に練習に出向いて例年通りに交流を行うことができました。

高校剣道部の活動も、顧問の木村先生に加えてOBの高橋瑛人先生(110期)にも、熱心に指導していただいています。今



後もOB会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立てて行きたいと考えています。



水泳部  
須藤聰  
(78期)

水泳部OB会が発足し5年が経ちました。昨年度は会員数を増やすべく、水泳部OB会総会の通知を260名に郵送。会場もグランビューカーの大会場を押さえました。しかし、残念ながら参加者は19名。会場に仕切りを立てて厳かに総会を行いました。今年こそは50名を越える参加者を期待します。この翠巒体育をご覧になった水泳部OBの方は78期須藤までご連絡下さい。

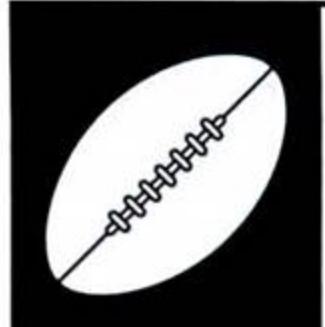
須藤携帯 090-8477-4861

昨年度行った現役生との交流会は、8月8日県大会終了後の焼肉会。前顧問、現顧問2名、現役生10名を招待。OBは10名参加。現役生にはトライアスロンを行う選手もいて、大会後にスイミングで練習して腹を空かせてから参加した強者もいました。

水泳部OB会では卒業記念としてネクタイをプレゼントしています。卒業式前日に島崎会長と須藤が出向きました。少し早く着いたため、25m×25mのプールを見に



行こうとしたときでした。「先輩!」と声をかけてくれた生徒がいたのです。焼肉会が功を奏し、我々の顔を覚えてくれたのでした。嬉しかったですね。プールを案内してもらい卒業生に記念品を渡しました。楽しいひとときを過ごせました。若いつて素晴らしいですね。



**ラグビー部**  
芳賀 弘幸  
(81期)

翠巒体育会の会員の皆様には、日頃よりお世話になっております。高崎高校ラグビー部OB会は、現役生の応援のための活動を行っています。

悲しいお知らせになりますが、長年OB会の活動に携わり、私の同期でもある黒石君が昨年10月に逝去してしまいました。心よりご冥福をお祈りします。

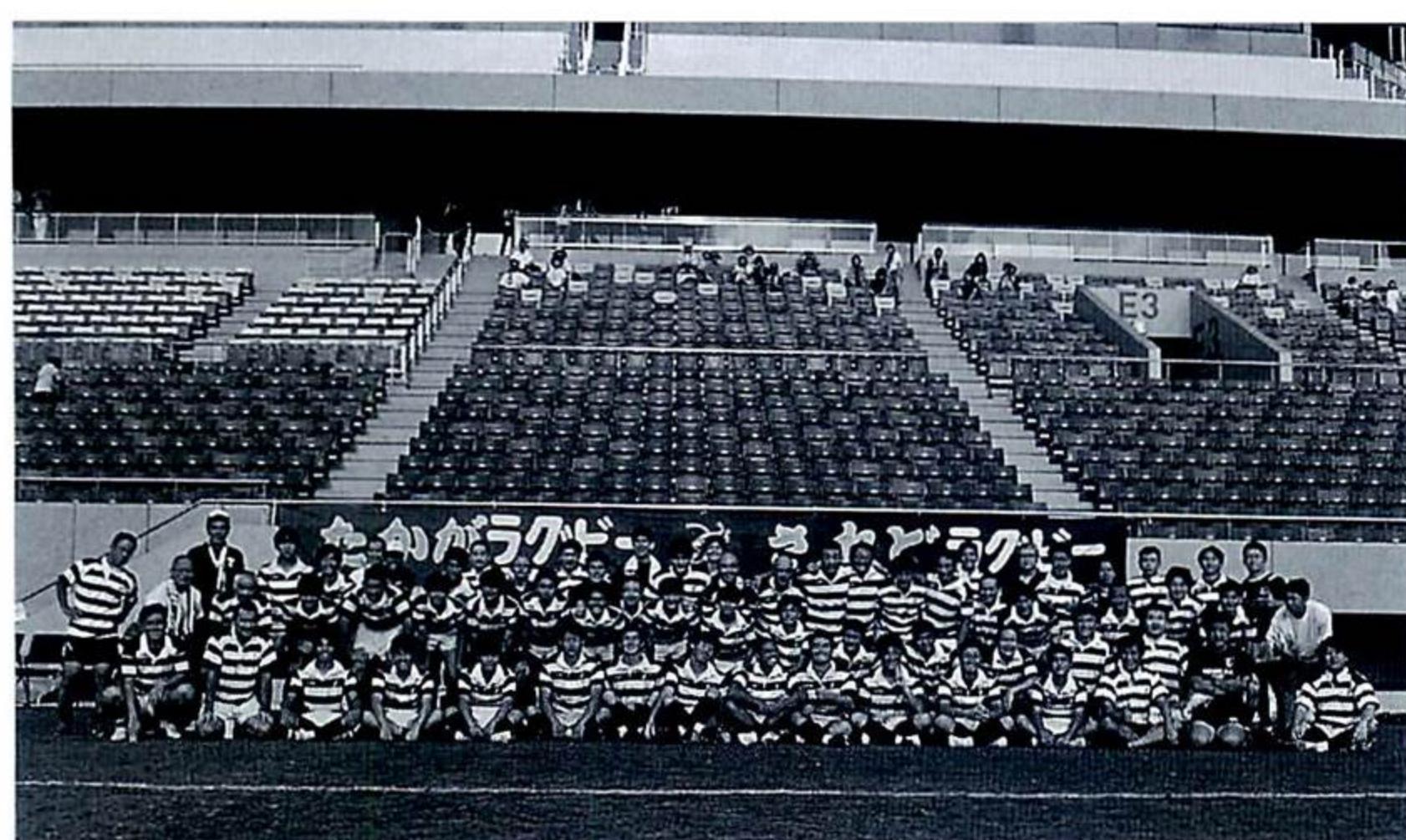
昨年度は、コロナも落ち着き、1月には、「OB戦」を行うことができました。若手のOBがたくさん集まり、現役生に胸を貸すことができました。現役生もやる気満々で試合の延長をOBに申し出る場面もありました。

また、3月には、これもまたコロナで自粛していた「ラグビーフェスティバル」を大々的に再開することができました。現役・若手OBの試合や社会人チームの試合を行い、皆楽しく試合をしていました。ビンゴ大会やオークションも計画していたのですが、天候悪化のため景品等は来年に持ち越すことになりました。

また、9月には熊谷高校の宿沢杯に招かれて、現役、OBは熊谷ラグビー場のAグラウンドで試合をすることができました。

そして、もう7年目になりますが、12月にラグビー部OB会主管で1年生の体育の授業においてラグビーの体験授業を行いました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい体育での冬のラグビーが授業で復活できるよう、ラグビー部OB会は高々のラグビー授業にも積極的に関わっていきたいと思っています。

これからも高々ラグビー部がさらに躍進できるよう、春の関東大会、夏の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたいと思っています。



テニス部OB(84期)

## 山口 正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!  
ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社  
TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

テニス部OB(108期)

## つくなわ法律事務所

高崎市筑縄町52番地7 梅山第一ビル201号  
TEL.027-395-0121  
弁護士 大野 岳 群馬弁護士会所属



**バレーボール部**  
武山 雄海  
(102期)

2024年5月に行われた高校総体では、111期の砂川先生率いるチームが県優勝する事が出来ました。自分達で練習や課題克服の方法を考え土台を作ってきた2・3年生に、1年生の勢いのある新しい戦力が加わり、今後も成長が期待できるチームだと感じております。OB会としても最善の支援を行えるように尽力して参ります。

OB会の活動としましては、2023年7月に久しぶりに総会を開催しました。顧問の先生やOB会長の交代、OBプロ選手の活躍など話題が多い近年だったこともあり、毎年行っている新年会よりも多くの方に参加していただきました。一人一人の近状報告や今後の抱負などを聞き、今まで知らなかつたそれぞれの経歴や現状、個性を知ることができたこともあって、とても有意義な時間となりました。また新年の恒例行事であるOB×現役の練習会及びOB新年会も令和6年1月3日に行われ、総会を開催したこともあり20・30代の参加者が多くこちらも活気ある会となりました。

OBチームである翠巒クラブの活動は、現在も高崎市立群馬南中学校で毎週火曜日に練習を続けています。SNSなどでOBの垣根を越えて参加者を募集し、小・中学生向けの地域スポーツに貢献できるような活動もしております。バレー部経験や年齢を問わず参加者を募集しておりますので、ご興味ある方は是非ご参加ください。



**テニス部**  
北村 真行  
(85期)

昨年の5月にコロナが五類感染症へと移行となり、3年余にわたる活動自粛に出口が見え始め、社会生活もようやく平常運転となっていました。それに伴う形でテニス部OB会活動の中心である現役部員との交流試合、OB総会・懇親会も昨夏は4年ぶりに開催できました。

昼の部としての現役部員との交流試合は高崎高校のコートにて行いました。現役部員にとどまらず昨年大学に進学した

テニス部OB(91期)

## 原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱒料理・手打ちそば  
高崎市倉渕町川浦3900-156 TEL.027-378-3132  
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



2023年8月12日現役部員との交流試合、高崎高校にて

ばかりのOBも参加していただきました。10代の若手と年季の入ったOB会メンバー、「スピードとパワー」対「老舗な試合運び」というコントラストが垣間見られた試合でひと時の汗を流しました。久しぶりに和やかな交流を再開することができたことは喜びです。同時に、僅かばかりの支援ではありますが練習用ボール2ケースを寄贈いたしました。夜の部の総会・懇親会ではOB会メンバーが再集合し、高崎市内の居酒屋でこちらも4年振りの宴となりました。こちらも久しぶりの開催ということで参加は11名にとどまりましたが、議題として永らくOB会会長を勤めて頂いた林正和先輩(81期)の勇退、それに伴い新OB会会长には斎藤英敏先輩(83期)の就任承諾をいただきました。今後は昨夏のOB会活動の再開を契機に、元ダブルスインターハイ選手である斎藤OB会会长のもと、更なる交流の輪が広がるよう活動していきたいと思います。

さて、引き続き今年度も交流試合、総会・懇親会を予定しています。日程は2024年8月10日(土)を予定しています。

詳細は「高崎高校テニス部OB会」のホームページ  
(<https://ttob.web.fc2.com/>)

にも記載しますので、まだ参加されたことのないOB諸兄も是非気兼ねなく参加していただければと思います。また、在郷OBによる毎週日曜日の定期練習は現在も吉井運動公園運動場のハードコートで継続しています。こちらも年代に関わらずOBの皆さんのが飛び入り参加は大歓迎です。



おいて仲澤賢一(86期)会長から塚本浩史(99期)へと会長が交代しました。今後ともよろしくお願ひいたします。

年が改まり、今年も毎年元日に開催されている現役とOBとの交流戦を行いました。参加いただいたOBのみならず、現役生のご家族の方々にもご協力いただき、引き続き開催できま



したことに対し感謝申し上げます。

参加するOBの世代も幅広くなっていますが、多様な世代のOBに参加いただきたいので、これまで機会がなかったOB諸兄も気兼ねなく足をお運び頂けましたら幸いです。

また、試合直後に能登半島地震の揺れを体感することになりましたが、この場をお借りして影響を受けた方や被災された方々へお見舞いを申し上げます。

今年も7月にOB総会の開催を計画しておりますので、その際はOB諸兄にご参加いただければ幸いです。

なお、失礼ながら逝去されたことを損じ上げずに通知を発送してしまったケースや、転居等により連絡先が更新されていないケースが散見されるため、名簿の見直しを進めておりますが、多くのOBに開催計画をお伝えできるように努めてまいります。



ソフトテニス部  
清水 健一  
(104期)

2023年8月11日(金)、35度近い猛暑の中、高崎高校テニスコートにてOB・現役との親善試合が行われました。例年通り幅広い

世代のOBが参加し、現役と熱戦を繰り広げていました。また今年度は、親善試合だけでなく、ボレー練習などの基礎練習もOB・現役一緒になって行い汗を流しました。OBから現役へアドバイスを送る場面がたくさんあり、OBと現役とのよい交流の場となりました。

また、親善試合後には新型コロナウイルス流行以前に行っていた懇親会をOBと顧問のみではございますが、開催することができました。少しずつ以前のような活動を取り戻せてきている手応えを感じています。



次回は、以前行っていた現役も交えた懇親会を開催して、OBと現役の親交をさらに深めていければと思っています。



## 《高崎高校運動部の活動報告》 先輩がんばってます



### スキー・スケート部

岩橋 洋翔

スキー部は、現在2年1名での活動を行っています。昨シーズンは融雪により多くの大会が中止になるなか、唯一出場した湯の丸バンクドスラローム大会では見事優勝することができました。これを受け、来シーズンは、世界大会にもつながる大会にも出場し、それに向けた練習も日々頑張っていきたいと思います。

最後に、我々がこのような充実した環境で日々トレーニングを行っているのは、いつも手厚くサポートしてくださる保護者の方々や顧問の小林先生、OBの方々などの支えがあってこそだと思います。この支えを胸に、日々精進して参ります。今後とも応援よろしくお願いいたします。



### サッカー部

森田 竜治

私達サッカー部は、顧問の笠原先生、副顧問の徳光先生、岡田先生のご指導の下、1年生25名、2年生19名、3年生18名で活動しています。

我々サッカー部は、ここ数年、なかなかベスト8に入れていないので、今年こそは高校総体、インターハイでベスト8に入り、更なる高みを目指していきたいです。特に、今年のチームの特徴であるショートカウンターには磨きをかけつつ、ポゼッション、セットプレーを重点的に練習に取り組んでいます。

最後になりますが、日頃から私達を支えてくださる先生方、保護者の皆様、OBの方々への感謝の気持ちを忘れずに、自分たちのサッカー人生の集大成である高校総体、インターハイに向けて励んでいきますので、引き続き皆様の応援をよろしくお願いします。

**株式会社有花園**

亀田慎也 ラグビー部(88期) 亀田壯太 バスケ部(117期)  
亀田圭吾 ラグビー部(94期) 亀田敦也 JRC(119期)  
〒370-0806 高崎市上和田町8  
TEL.027-322-4875

**株式会社BIGWIG**

中古車販売・買取・車検・修理  
柳通り駐車場  
新電力(PPS)代理店

代表取締役 大田部 功 (ラグビー部・85期)  
高崎市柳川町19-1 TEL.027-324-8330



### 卓球部

村永 洋仁

私達卓球部は顧問の横田先生、長谷川忠史先生のご指導の下、3年生6名、2年生8名、1年生9名の計23名で活動しています。

卓球部は前回の新人大会で、続いている団体ベスト8を逃しました。今年はその悔しさをバネにして、もう一度ベスト8に入り、関東大会に出場することを目標として日々練習に励んでいます。自分たちの課題を大会や練習試合の動画を見返して洗い出し、部員同士でアドバイスするなどして技術の向上に励んでいます。また、同じレベルの学校、格上の学校にどのように競り勝っていくかを、練習試合などを通して考えています。

最後になりますが、お世話になっている顧問の先生方や、OB、卓球関係者の方々への感謝を忘れず、結果で恩返しができるよう全力で取り組んでいきます。今後とも応援よろしくお願いします。



### 柔道部

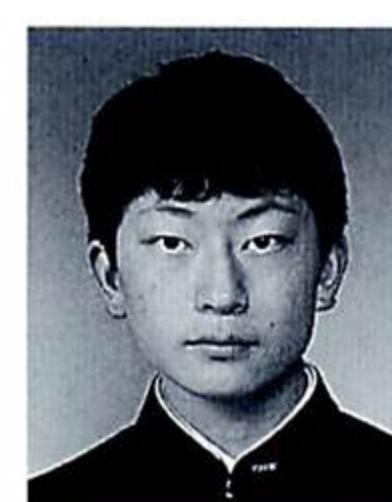
井口 真心

柔道部は2年生2名、1年生1名の3名で顧問の小林先生や、通信制の田中教頭先生のご指導のもと日々の稽古に励んでいます。

伝統として引き継がれている「考える柔道」の実践はもとより、各々の目標、発見を共有することで、練習量を上回る合理的な稽古を実現させています。またそれにより、柔道のみならず、勉学や他方での活躍に必要な時間をも確保し、文武両道の堅持に励んでいます。

今年度から再び各大会の団体戦に高崎高校が出場することになります。OBの方々の活躍を追い越せるよう精進してまいります。

最後になりますが、日々協力してくださっている先生方や保護者の方々、OBの方々への感謝の気持ちを忘れず、それぞれの目標へ邁進していきます。応援よろしくおねがいします。



### バドミントン部

山田 竣哉

私たちバドミントン部は、顧問の箕輪先生と飯塚先生にご支援いただきながら部員23名で練習に励んでいます。高高バドミントン部のほとんどが未経験者で、指導者もいません。

そこで私たちは今までの練習メニューを見直し、刷新してきました。シャトルの種類の変更やノック練習の導入、他校との練習試合を多く入れてもらうなどして「質の高い練習」を行っています。

今まででは全く歯が立たなかった、部員に経験者の多い私立や東毛地区の高校と対等な試合ができるよう、これからも日々の練習で仲間と協力し合いながら切磋琢磨していきます。

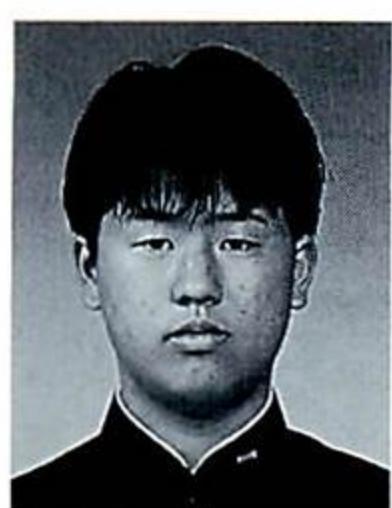
バドミントンができる喜びに感謝し、支えてくれる人に一つでも多くの感動を与えられるプレーができるように努力していきますので応援よろしくお願いします。



特定技能外国人 登録支援機関  
株式会社ビズソリューションズ

代表取締役 藤井正弘 (応援部・81期)

群馬県高崎市江木町1510-1 シロタビル301  
TEL.027-329-7846  
E-mail : biz@shuushoku-shien.co.jp



## 空手道部

門脇 駿

我々空手道部は2年生4人、1年生1人で活動しており、顧問の岡田先生のもと大会で入賞することを目標に日々練習に励んでおります。

空手道部は毎年入部者が少なく、昨年は半年間1年生4人で先輩がいない状況で活動していました。しかし自分達でできることを考え組手の基本から練習を積み重ねてきたので昨年は階級別の個人組手では、関東大会で準優勝、3人制団体組手で県3位の成績を収めました。今年は1年生が1人入部してくれたおかげで今年も首の皮一枚繋げる事ができました。また部員が5人に増え、大会で5人制の団体戦にも出場できるようになったのでさらなる技術の向上を目指していきます。

昨年から他校との練習や指導者との関わりが増えてきたので、多くのことを学ぶとともに支えてくださる方々に感謝し、これからも活動していきます。応援よろしくお願ひします。



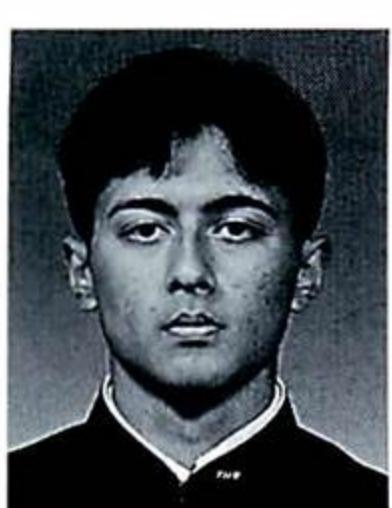
## 剣道部

小泉 希遙

剣道部は、顧問の木村先生、副顧問の高橋先生のご指導のもと、3年生3名、2年生10名に加えて、新たに加わった1年生6名の、計19名で日々稽古に励んでいます。多くの部員と共に活気のある充実した稽古に励むとともに、部員全体で一丸となって一つの目標に向かって頑張っています。

新体制になって、1月の新人戦大会では、今まで目標にしてきた「団体戦県ベスト8」の記録を達成することができました。しかし、今の成績に甘んじることなく、さらに上を目指し、高校総体では「団体戦県ベスト4以上」そして、関東大会に出場することを部全体の目標としています。

最後になりますが、私達を支えてくださっている先生方、OBの先輩方、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず日々精進していきますので、応援をよろしくお願ひ致します。

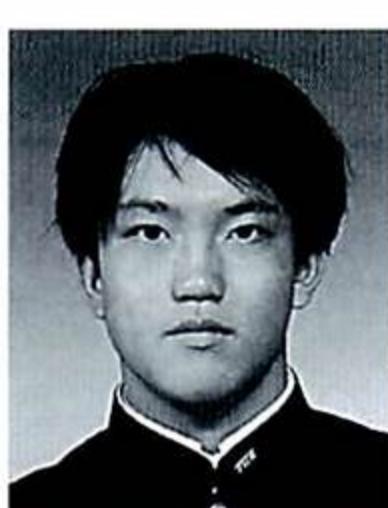


## 陸上競技部

西 智大

私達陸上競技部は、選手の主体性を重視した、自由な気風のある部活動だと自負しています。主体性を重視することで、個々人に適した練習を行えて、効率的に鍛錬することができ、部活動時間の豊富な強豪私立高校などに対しても勝負していくと考えています。

そして、今年度の冬季練習は、基礎体力の強化を念頭において、走り込みと体幹トレーニングを中心におこないました。各自で追い込んだあとに、かなりハードな補強を取り入れたので、精神的にも肉体的にもかなりきつかったです。全ては5月の総体で結果を残すために仲間同士鼓舞しながら冬季を乗り越えました。部のために最善を尽くしてくださった稻垣先生、応援してくれている多くの方々への恩返しとして、最高の結果をのこせるよう頑張ります。



## 水泳部

後藤 涼己

水泳部は、3年生1名、2年生6名、1年生9名の計16名で、顧問の青木先生、副顧問の鈴木先生のご指導の元、関東大会、インターハイ出場を目指して練習しています。練習は各クラブに所属していたり、週1度、トレーニング日を設定したりして練習しています。

昨年度は関東大会出場を果たすことができましたが、水泳部の目標の一つでもある、リレーでの関東大会出場を残り1秒で逃してしまいました。今年は県でも上位に入れる高い能力を持った新入生が入部してくれました。今年こそは上位大会にリレーで出場できるように努力を積んでいきたいと思います。

最後になりますが、お世話になっている先生方、OBの方々、保護者の方々には深く感謝を申し上げます。皆様の支えのお陰で活動できています。今後とも応援よろしくお願ひします。



## ソフトテニス部

橋本 大毅

ソフトテニス部は3年生10名、2年生5名、1年生9名の計24人で活動しています。顧問の菊地先生、副顧問の小林先生、コーチの大澤さんのご指導のもと、日々部活動に励んでいます。

現在、私たちは大会で多くの実績を残しています。「今年こそは必ずインターハイに出場するぞ!」という目標を達成する気持ちで、自分たちで練習を考え、お互いに切磋琢磨し合いながら練習してきました。今年はたくさんの機会をいただいて、県外の強豪校とも練習試合を行い、自分たちの戦略、技術、根性を磨いてきました。高高生として頭脳を使ったテニスで、自分たちを信じて立ち向かっていきたいと思います。

最後に顧問の先生方や保護者の方々、OBの方々の支えに感謝して、これから大会に本気で取り組んでいきたいと思うので、ご声援をよろしくお願ひします。



## テニス部

樺野 碧寿

私たち硬式テニス部は顧問の高橋先生、副顧問の中川先生、米澤先生の御指導のもと、3年生10人、2年生11人、1年生14人の計35人で活動しています。日々の練習では、学校のコートや並木のコートを利用し、団体戦ベスト4、シングルス、ダブルスでは本戦出場を目指して日々練習しています。

県内の強豪校に比べると練習量、技術では劣りますが、高高生の得意分野である頭脳戦で足りない部分を補い、一日一日の練習を大切にし、各自が高い意識を持って練習に取り組むことで一つでも多くの勝利をつかめるよう日々邁進してきました。

最後に日頃から部活を支えてくださる先生方、家族やOBの方々への感謝の気持ちを忘れずに目標に向かって努力し、良い結果を残せるように全力で取り組んでいきますので応援よろしくお願ひします。



Wing本店

高崎市中尾町36



Rabbit前橋高駒店

前橋市公田町669-3

輸入車のことは何でもお任せ下さい

お客様に寄り添い、親切丁寧に対応させて頂きます

TEL:027-252-7227

定休日:月曜日・第1第3火曜日

ご来店・出張査定無料にて承ります

査定だけでもお気軽にお問い合わせ下さい

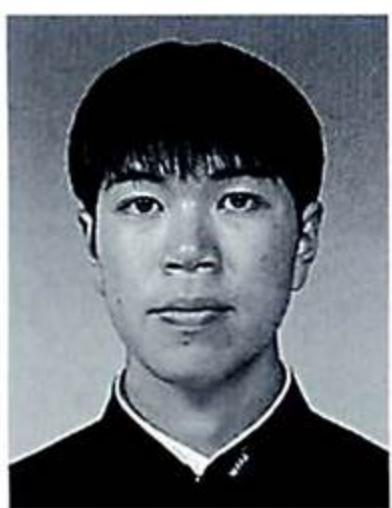
TEL:027-290-3700

定休日:月曜日・第1第3火曜日

株式会社ウイング

志村 潤(バスケットボール部93期)

展示車情報  
是非、ご覧ください!



## 軟式野球部

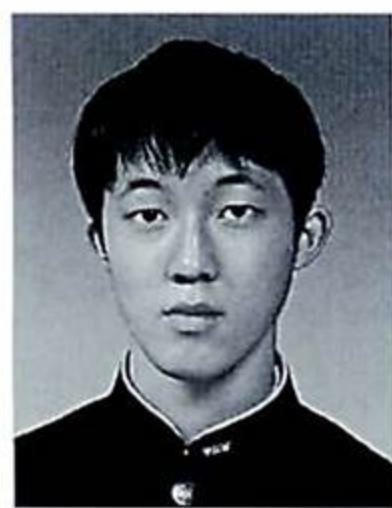
矢野 健生

軟式野球部は、顧問の田島先生、副顧問の小林量先生、今井先生のご指導のもと、3年生10名、2年生6名、1年生6名の計22名で、日々練習に励んでいます。

昨年は春季群馬県大会で優勝し関東大会に出場、夏季群馬県大会では北関東大会への出場権を獲得し、北関東大会に出場しました。今年は、春季、夏季群馬県大会でともに優勝し、その後の上位大会で1勝することを目標としています。

高高軟式野球部の長所は、自由にのびのびと活動する一方で結果を追求する、という一種の二律背反を成立させ得る点にあると考えています。自分たちは自分たちのやり方で、目標達成に向けて日々邁進してまいります。

最後に、軟式野球部の活動にご尽力いただきます全ての方々に感謝申し上げます。



## バレー ボール 部

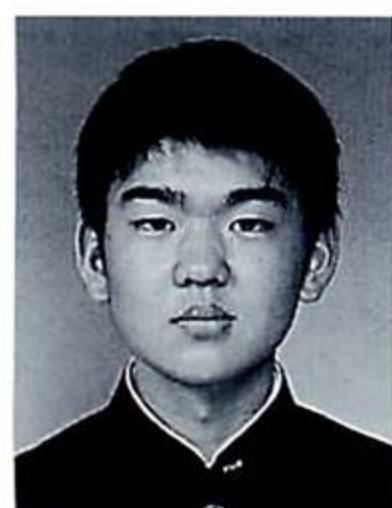
佐高 真翔

バレー ボール 部では顧問の砂川先生、副顧問の平川先生のご指導の元、3年生10名、2年生7名、1年生12名の計29名で活動しています。部員全員で切磋琢磨し合い、より高みを目指し一日

一日精進しています。

昨年度はインターハイ出場を目標としていましたが、あと一歩のところで出場することができませんでした。今年こそはインターハイに出場し全国で一勝することを目標に日々練習に励んでいます。

最後になりますが、保護者の皆様、OBの方々の支えがあったことで遠征や練習の質が高まり一人ひとりの技術やチームの強化ができたと感じています。そして皆様の支えがあったからこそ新人戦で二連覇ができたと考えています。支えてくださるすべての皆様への感謝を忘れることなくOBの方々からの伝統を大切にし、今後もさらにレベルアップしていくように部員一丸となって頑張っていきたいと思っていますので、応援の程よろしくお願ひします。



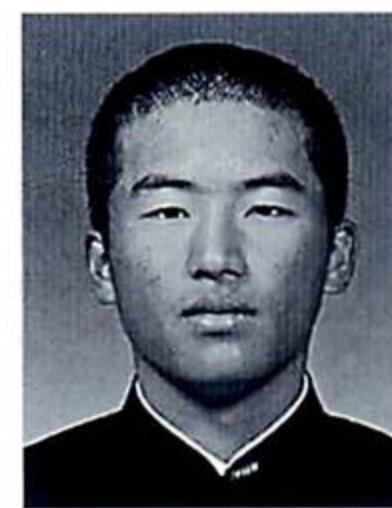
## 山岳部

松原 勘佑

山岳部は顧問の長谷川太一先生、副顧問の米澤先生、そして國富先生のご指導の元、毎月の山行や自主トレーニングなどの活動を行っています。

昨年度はコロナ禍のような大きな制限も無く9月は長野県の編笠山、権現岳へメインザックを担ぎ一泊二日の山行、2月には輪かんをつけた雪上歩行やスキーの訓練にも行くことができました。また高崎高校山岳部OBの方々と一緒に榛名富士に登り、部員が料理を振る舞うなどをし、OBの方々との交流を深めることができました。

これからもOB、先生方などの私達の活動を支えてくださっている周囲の方々への感謝を忘れることなく、楽しく安全な登山ができるように日々活動していくので応援よろしくお願ひします。

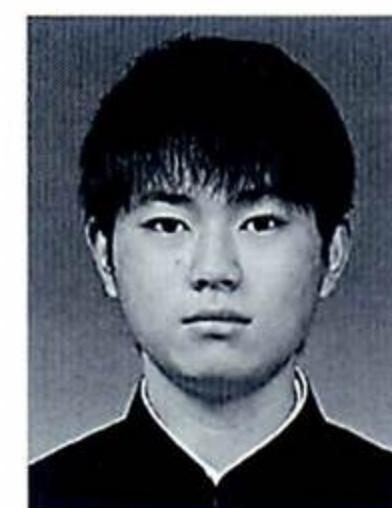


## 硬式野球部

鈴木 駿太郎

私達硬式野球部は、夏の甲子園を目指して日々練習を行っています。春の大会では、公立高校にサヨナラ負けをしてしまい、ベンチ入りの選手を中心、「このまま終わりたくない」「夏の大会で必ず勝つ」など、より一層チームにまとまりが出てきました。

キャプテンである自分の考えとしては、バットの規定が変わり、戦略が高校野球全体で変わってきたため、公立校でも必ず甲子園のチャンスがあると考えています。そのため、春の大会後はサイインプレーや一点をもぎ取る攻撃など様々なことをテーマにして練習、練習試合を行っています。自分たちの野球を見つけそれを確立するために残りの時間を大切にし、体力面でも精神面でも自分たちを鍛えていきます。3年生にとっての集大成である夏の大会に有終の美を飾れるように悔いのない二ヶ月を過ごしていきたいです。



## 弓道部

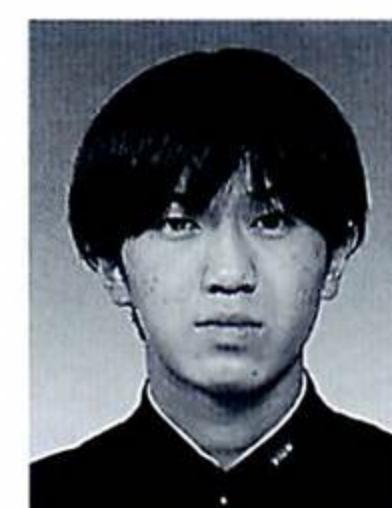
長沼 央晟

私達弓道部は、顧問の金谷先生、副顧問の森戸先生、コーチの東宮先生のご指導の元、3年生9名、2年生9名、1年生4名の計22名で、日々練習に取り組んでいます。

現在は、春季大会を終え、次に控える県総体やインターハイ予選に向けて、部員一同、射技向上に努めています。引退していく先輩方の思いを引き継いで、更に意識を高く持って練習に励み、今まで重ねてきた鍛錬の成果を大会で発揮し、関東大会出場の目標が達成できるように頑張ります。

また、1年生への指導も始まり、弓道の楽しさや大切なことを教えるとともに、教える事によってまた新しい発見があり、充実した部活動を日々行っています。

最後になりますが、自由に部活ができること、支えてくださる方々がいることに感謝し、今後の練習、大会に力を尽くしていきますので、応援よろしくお願いします。



## バスケットボール部

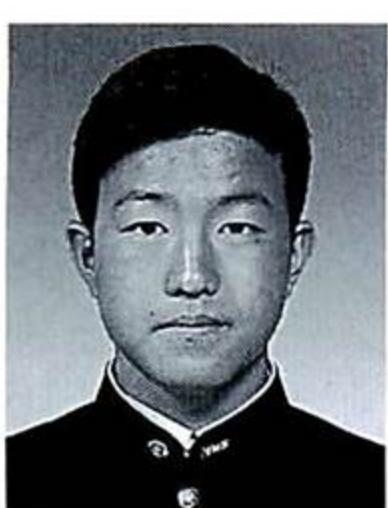
市村 有人

バスケットボール部は4月に新たに1年生19名を迎えて、計40名で関東大会、インターハイ出場を目指して活動しています。

スローガンである「戮力協心」のもと、日々の練習に励んでいます。昨年の新人大会では、先輩方がベスト4の壁を破り3位入賞を果たしました。来たる総体、インターハイ予選では、ベスト4が新たな伝統となるように、さらにその上のステージを目指してハードなディフェンスを中心としたバスケットで、チーム一丸となり全力で挑んできます。

最後になりますが、指導してくださる先生方、そして保護者やOBの皆様の支えによって私達が大好きなバスケができていることに感謝し、目標に向かって精進してまいりますので応援をよろしくお願いします。





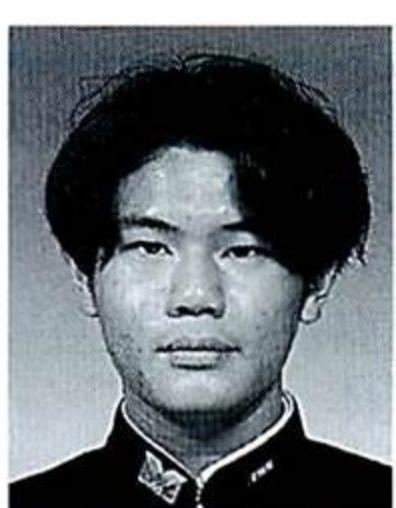
## ラグビー部

栄 輝紀

私たちラグビー部は顧問の皿山先生、副顧問の齋藤先生、青木先生の御指導の下、3年生11人、2年生7人、1年生10人の計28人で活動しています。

昨年度果たすことのできなかったベスト4シード、打倒私立、その悔しさを晴らすべく日々練習に取り組んでいます。我が部はラグビー未経験者が大半を占めるため、選手一人一人の自律性、積極性に重点を置いています。掲げるスローガンは「thinking rugby」です。花園出場に向けて、チームの結束を固め、今後も良い結果を出せるよう励んでいきます。

今後、伝統ある高崎高校ラグビー部の一員たる自覚と誇りを持ち、先生方やOBの皆様をはじめとする、支えて下さるたくさんの方々への感謝を忘れず、日々の活動に精一杯取り組んでいきますので、今後ともご声援の程よろしくお願ひします。



## 応援部

鈴木 晴斗

第漆拾式代応援部主将を務めております、鈴木晴斗と申します。

4月の部編成にて2人の1年生が参入いたしました。年度当初から複数部員が入部することは近年稀に見ることであり、部員一同で大変嬉しく思っています。

応援部がもはや時代錯誤と称される当節の中にありながらも、伝統の灯火を絶やさぬために、我々部員一人一人は応援部員としての真理を究めんとしております。なぜこの伝統が残され受け継がれているのか。何を以て応援部(員)と言えるのか。これを日々考え抜くことで、伝統を踏まえた新たなる「応援部」としての姿が現れると思います。今後の我々の勇姿をご覧いただければ、今代の応援部としての答えもおわかりになるはずです。その答えや「応援部」の在り方は代によって移ろうものもありますが、伝統を重んじつつ邁進する我々高崎高校応援部を今後とも見守っていただけると幸いで御座います。押忍。

令和7年  
1/25  
(土)

15:00- 総会  
16:00- 懇親会

場 所 グランビュー高崎

第123回

高崎中学校・  
高崎高等学校

同窓会総会・懇親会のご案内

第122回 群馬県立高崎中学  
群馬県立高崎高等学校

協賛制度の立てについて

本年度より新年同窓会開催にあたり、安定的な運営を続けるために、企業・団体による協賛制度を設ける予定です。つきましては、協賛制度にご賛同いただける企業・団体関係者におかれましては、こちらのアドレスにお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。✉ takataka.kanji@gmail.com

なお、ご協賛をいただいた企業・団体などのお名前については、当日配布資料、新聞広告、会場スクリーン・パネル等に掲載させていただきます。

整形外科  
ぐんまの森クリニック  
Gunma no Mori Clinic

院長 濱野 哲敬 (硬式野球部 102期)  
TEL 027-324-6100  
〒370-0024 群馬県高崎市八幡原町453-1

塚越・石橋司法書士事務所

石橋 修 (陸上競技部・90期)

不動産仲介・不動産鑑定・コンサルティング・再開発プランナー  
**株式会社ミッドランズ**  
不動産鑑定士  
角張 敏郎 (スキースケート部 80期)  
〒106-0032 東京都港区六本木7-13-1 東京ミッドタウン前  
TEL.03-5785-3131  
www.midlands.jp info@midlands.jp

磐梯朝日国立公園  
会津・裏磐梯 高高割あります!  
**ペンション楓**  
西沢 優 (スキースケート 82期)  
福島県耶麻郡北塩原村桧原湖剣ヶ峯1093-869  
TEL.0241-32-3455

50周年おめでとうございます

税理士 江原 克典  
(スキースケート 88期)  
群馬県高崎市下和田町四丁目8番1号

不動産の売買・仲介・コンサルティング  
**株式会社 DAIWA KOGYO**  
代表取締役 金子 哲也 (スキースケート 88期)  
〒370-0064 群馬県高崎市芝塚町1879番地8  
サンライトビル芝塚13  
TEL.027-388-0221 FAX.027-388-0129

## 令和5年度運動部活動状況

### 硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会	
1回戦 4-2 桐工	
2回戦 1-8 前商	
夏季西毛リーグ	
34-4連合	
8-9 高経附	
秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選	
1回戦 3-2 高工	
2回戦 9-1 大間々	
3回戦 1-7 県央	ベスト16
春季西毛リーグ	
20-0 松井田	
11-1 藤北	
決勝トーナメント	
6-4 吾妻中央	
1-9 安総合	準優勝
春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選	
1回戦 12-7 沼田	
2回戦 4-5 清明	

### バレーボール部

全国高等学校総合体育大会バレーボール競技県予選会	
3回戦 2-0 館林	
準々決 2-0 高商	
準決勝 1-2 桐商	第3位
令和5年度 群馬県高等学校バレーボール選手権大会兼 第75回 全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選会	
3回戦 2-0 農二	
準々決 2-0 高東	
準決勝 0-2 前商	第3位
群馬県高等学校バレーボール男子新人大会	
3回戦 2-0 伊商	
準々決 2-0 渋工	
準決勝 2-1 桐商	
決勝 2-0 前商	優勝

### 空手道部

新人大会	
団体 3人制組手	第3位
個人 61kg級組手	優勝
(関東大会出場)	

### 水泳部

群馬県高等学校新人水泳競技大会	
50m背 大塚翼	第1位
50m自 大塚翼	第2位
50m平 竹内誠一	第2位
4×50mフリーリー竹内・並木・島田・大塚	第3位

### 柔道部

《柔道競技》	
令和5年度 群馬県高等学校学年別柔道大会	
第1学年 60kg級 中村葉流	第3位
第71回 全国高等学校柔道大会群馬県予選会	
入賞者なし	
令和5年度 第71回群馬県高等学校新人柔道大会	
男子団体Bブロック	第3位

### ソフトテニス部

群馬県高校選手権大会	
個人 ダブルス 片貝・田村ペア	第3位
(全国大会出場)	
群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会	
団体 優勝	
個人 ダブルス 大河原・茂木ペア	優勝
シングルス 大河原	準優勝
ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2024	
群馬県代表選考会	
個人 ダブルス 大河原・茂木ペア	準優勝
シングルス 大河原	準優勝
片貝	第3位

### ラグビー部

全国7人制大会予選	
準々決 17-24 太田	
1年生大会	
(伊勢崎・興陽との合同チーム)	
1回戦 0-42 桐一	
敗者戦 12-0 合同C	
(桐生・樹徳・太田・関学・清桜)	
敗者戦 7-7 農二	
選手権大会(全国大会予選)	
準々決 93-0 合同C	
(高工・高商・安総)	
準決勝 14-38 太田	
新人大会	
準々決 梱権 太田	

### 軟式野球部

第71回 春季関東地区高等学校軟式野球大会	
群馬県予選大会	
2回戦 9-0 四校連合	
準々決 4-2 高工	
決勝 4x-3 農二 優勝	
(4年ぶり4回目)	

第71回 春季関東地区高等学校軟式野球大会(千葉県)	
1回戦 0-4 茗渓学園(茨城)	

第68回 全国高等学校軟式野球選手権	
北関東地方大会 群馬県予選大会	
2回戦 5-1 前工	
A代表決定戦 8-4 前橋	
(3年連続県代表)	

北関東大会群馬開催のため決勝は行われず

### 第68回 全国高等学校軟式野球選手権

北関東地方大会(群馬県)

1回戦 3-7 茗渓学園(茨城)	
群馬県予選大会	

1回戦 2-7 五校連合	
関東高等学校軟式野球連盟優秀選手表彰	

井上慧悟	
群馬県高野連軟式部優秀選手表彰	

中澤義貴	
群馬県高野連軟式部優秀選手表彰	

### 剣道部

#### 令和5年度 インターハイ予選

団体 1回戦 5-0 清明	
2回戦 1-2 育英	

#### 令和5年度 選手権大会

団体 1回戦 4-0 樹徳	
2回戦 2-0 渋川	
3回戦 1-4 前橋	ベスト8

### 個人

久保	ベスト32
若林	ベスト32

### 令和5年度 学年別大会

2年生 窪田	ベスト32
1年生 黒木	ベスト16
1年生 若林	ベスト16

### 令和5年度 新人戦

団体 1回戦 3-0 県央	
2回戦 4-1 太田	
3回戦 1-2 前橋	ベスト8

### 山岳部

第58回県高校総体(榛名山)	
第1部 男子	第7位

### 陸上競技部

北関東大会	





<tbl\_r cells="2"

**■ バドミントン部**

インターハイ予選  
1回戦 3-0 藤 北  
2回戦 1-3 太 工

新人戦  
1回戦 1-3 渋 川

**■ バスケットボール部**

インターハイ予選  
1回戦 114- 46 高 工  
2回戦 135- 56 利 商  
3回戦 74- 84 常 磐  
WC予選  
1回戦 92- 68 桐 工  
2回戦 91- 45 吾中央  
3回戦 54- 89 桐 一  
新人大会  
1回戦 140- 39 大 泉  
2回戦 92- 64 高 工  
3回戦 89- 72 高 商  
準々決 61-104 桐 一  
5位決定戦  
89- 76 桐 生  
5位

**■ テニス部**

インターハイ予選  
個人 シングルス 宮田青空 ベスト16  
小山田篤司 ベスト64  
針谷昊士朗 ベスト64  
中島佳直人 ベスト64  
新井勝也 ベスト64  
ダブルス 宮田・新井 ベスト32  
針谷昊・鈴木 ベスト32  
中島・鯨井 ベスト32  
小山田・湯浅 ベスト32  
団体 1回戦 3-0 伊 工  
2回戦 0-2 商大附  
群馬県高等学校新人テニス大会  
個人 シングルス 新井勝也 ベスト32  
高橋 心 ベスト32  
大岡幸太郎 ベスト64  
樺野碧寿 ベスト64  
高橋 謙 ベスト64  
鶴淵 渉 ベスト64  
ダブルス 鈴木俊大 ベスト64  
樺野・鶴淵 ベスト16  
新井・鈴木 ベスト32  
大岡・高橋謙 ベスト32  
団体 2回戦 5-0 勢 農  
3回戦 3-0 館商工  
4回戦 1-3 商大附 ベスト 8

**■ 弓道部**

県選手権  
団体 予選 40射22中  
決勝リーグ 100射47中0勝5負 6位  
個人 井田敦也 予選8射7中  
準決勝8射6中 決勝5中 計18中  
関東個人県予選  
個人 井田敦也 予選4射皆中 決勝4射2中  
計6中 遠近6の7~13位決定戦  
8位  
(関東大会出場)

**関東個人**

個人 井田敦也 予選3中 準決勝4中  
決勝射詰競射1回目的中2回目残念

**県新人大会**

団体 高崎A(井田・内川・長沼・宮下)  
予選24射13中 決勝13中 計26中 6位

**東日本予選**

団体 予選24射8中 予選落ち

**春季大会**

団体 Aチーム  
予選12射7中 決勝12射2中 計9中  
個人 井田敦也 予選4射3中 決勝4射残念  
那賀俊矢 予選4射3中 決勝4射1中  
徳江大海 予選4射3中 決勝4射2中  
松田鼓太郎 予選4射3中 決勝4射1中  
萩原悠真 予選4射3中 決勝4射2中

**第59回高校総体  
(令和6年) 男子総合2位****■ バレーボール部**

3回戦 2-0 高 東  
準々決 2-0 高経附  
準 決 2-0 県 央  
決 勝 2-0 前 商 優勝  
(関東大会出場)

**■ ソフトテニス部**

団体 1回戦 3-0 藤 工  
2回戦 2-0 吉 井  
3回戦 2-0 前 橋  
決勝リーグ  
1回戦 0-3 前 商  
2回戦 2-1 健大高崎  
3回戦 2-1 高 商 優勝  
(関東大会出場)

個人 ダブルス 片貝・田村組 ベスト 8  
大河原・茂木組 ベスト 8  
(関東大会出場)

**■ バドミントン部**

団体 1回戦 2-1 大 泉  
2回戦 1-2 勢 農  
個人 シングルス 山田竣哉 3回戦 ベスト64  
田島凰生 3回戦 ベスト64

**■ サッカーパー**

1回戦 3-1 樹 徳  
2回戦 1-0 市前橋  
3回戦 3-2 桐 商  
準々決 0-5 桐 一 ベスト 8

**■ バスケットボール部**

2回戦 94-61 伊 工  
3回戦 82-84 前 橋 ベスト16

**■ 山岳部**

第1部 第7位  
(関東大会出場)

**■ 空手道部**

個人 小池 ベスト16  
水野 ベスト32

**■ 剣道部**

団体 1回戦 3-0 富 岡  
2回戦 2-0 安総合  
3回戦 0-2 共 愛  
個人 窪田拓郎 4回戦 ベスト32

**■ 弓道部**

団体 予選 1回戦 20射9中  
2回戦 20射9中 予選6位通過  
決 勝 20射10中 合計28中  
7位

**■ テニス部**

団体 2回戦 3-0 大間々  
3回戦 2-0 健大高崎  
4回戦 0-3 太 田 ベスト 8

**■ 卓球部**

団体 1回戦 3-0 富 岡  
2回戦 3-2 伊 商  
3回戦 3-0 育 英  
4回戦 1-3 前 橋  
5~8位順位決定リーグ  
3-2 渋 川  
3-2 新 島  
3-2 吾中央 5位  
(関東大会出場)

**■ ラグビーパー**

1回戦 60- 0 合同C  
(樹徳・清桜・関学)  
準々決 14-101 県 央 ベスト 8

**■ 柔道部**

《柔道競技》  
団体 1回戦 0-5 常 磐  
順位決定戦 0-4 沼 田  
《相撲競技》  
団体 決勝戦 0-5 樹 徳 準優勝

**■ 陸上競技部**

混成8種 西 智大(4840点) 第1位  
5000mW 深野陽光(23分15秒61) 第2位  
1500m 内山遙人(3分57秒96) 第3位  
800m 内山遙人(1分54秒12) 第4位  
400mH 吉澤伊純(56秒05) 第4位  
(上記種目で関東大会出場)  
総合第 6位

**■ スキー・スケート部**

SL 6位  
GS 9位  
学校対抗 5位  
関東総体 SL 30位  
GS 49位

**■ 水泳部**

1500m自 後藤滉己 第3位  
(関東大会出場)

**「Brand New Start～新たな前進～**  
**優勝目指せ!!**  
高崎高校サッカーパーOB会

会長 清野 哲雄(74期)

## 翠巒体育会役員名簿

(2024. 6. 27)

役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名	
会長	大田部 功	85	ラグビー	理 事	秋山 恭兵	111	バレーボール	理 事	佐藤 雄一	97	サッカー	
副会長	山岸 祐二	79	水泳	〃	塚越 英男	91	剣道	〃	高山 雄介	100	〃	
〃	清水 威	85	硬式野球	〃	萩原 克明	93	〃	〃	小林 均	77	硬式野球	
〃	橋爪 洋介	85	卓球	〃	鳥居 吉二	73	柔道	〃	堀込 貴	84	〃	
〃	滝野 修司	86	剣道	〃	志田 登	82	〃	〃	赤澤 正喜	84	〃	
〃	甲斐 俊輔	87	陸上競技	〃	広田金次郎	95	〃	〃	北嶋 聰二	87	バスケットボール	
〃	根岸 強	87	サッカー	〃	茂原 賢三	89	陸上競技	〃	鈴木 徹也	88	〃	
〃	市川 英久	91	柔道	〃	石橋 修	90	〃	〃	富澤 慎一	99	〃	
〃	塚本 浩史	99	バスケットボール	〃	中山 拓紀	102	〃	〃	児島健太郎	100	〃	
〃(会計編集委員)	武山 雄海	102	バレーボール	〃	相澤 悅郎	88	ラグビー	〃	松本 基志	77	山岳	
〃(編集委員)	吉井 章一	78	山岳	〃	綿貫 雄高	88	〃	〃	須川 光一	79	〃	
〃	北村 真行	85	テニス	〃	高橋 哲人	89	〃	〃	斎藤 英敏	83	テニス	
〃(事務局)	櫻井 健一	87	応援	〃	永尾 俊弘	70	水泳	〃	長谷川泰三	83	〃	
〃	井野 周平	91	ラグビー	〃	斎藤 全賢	75	〃	〃	松本 潔志	85	〃	
事務局	横田 裕正	92	スキー・スケート	〃	伊藤 祐司	75	〃	〃	佐藤 雄一	86	スキー・スケート	
監査	坂本 弘	87	バレーボール	〃	須藤 聰	78	〃	〃	佐藤 光昭	88	〃	
監	小澤 朋克	99	バスケットボール	〃	堤 康高	71	卓球	〃	沼野 藤雅	89	〃	
顧問	波多野重雄	77	陸上競技	〃	羽鳥 広平	104	〃	〃	〃	芳賀 弘幸	81	ラグビー
〃	仲澤 賢一	86	バスケットボール	〃	宮原丈太朗	111	〃	〃	〃	伊藤俊一郎	92	柔道
顧問	國峯善次郎	50	サッカー	〃	石田 和久	75	ソフトテニス	〃	〃	清水 健一	104	ソフトテニス
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール	〃	深堀 将平	111	〃	〃	高橋 秀仁	107	卓球	
〃	高橋 浩生	78	バレーボール	〃	新嶋 拓哉	111	〃	〃	編集委員	提箸 宏	74	サッカー
理事(会計)	清水 元	91	硬式野球	〃	富田 和弘	85	応援	〃	新藤 洋一	81	水泳	
〃	根岸 彰	103	応援	〃	佐藤 英樹	92	〃	〃	藤井 正弘	81	応援	
理事	高橋 孝史	97	バレーボール	〃	武藤 靖秀	106	〃	〃	寺澤 佑介	95	スキー・スケート	
〃	柴山 俊広	103	"	〃	遠山 昇	79	サッカー	〃	足立 晋	96	陸上競技	

## 学校側顧問

校教事務	長頭	佐鳥 秋彦
	運動部長	小西 弘通・田中 利明
運動部事務	長頭	原澤 誠
運動部事務	長頭	小澤 朋克
運動部事務	長頭	小澤 朋克
硬式野球	ラグビー	高島喜美夫・井田 郁浩・飯野 道彦・小林 量
サッカー	サッカー	皿山 優義・齊藤 幸男・青木 紀仁
陸上競技	陸上競技	笠原 宗太・徳光 尚之・岡田 直之
水泳	水泳	稻垣 圭吾・齊藤 幸男・廣井 達人
岳	岳	青木 紀仁・鈴木 幸英
応援	応援	長谷川太一・米澤 育夫・國富 充敏
ソフトテニス	テニス	竹内 聰・平川 哲也
スキー・スケート	テニス	菊地 将史・小林 浩
バスケットボール	バスケットボール	高橋 建次・中川 浩之・米澤 育夫
バレーボール	バレーボール	小林 浩・一場 尚子
卓球	卓球	小澤 朋克・川田 亮一
剣道	剣道	砂川 智哉・平川 哲也
柔道	柔道	横田 謙人・長谷川忠史
弓道	弓道	木村 拓哉・高橋 瑛人
空手道	空手道	小林 裕貴・劍持 幸夫・田中 利明
軟式野球	軟式野球	金谷 学・森戸 麻子
バドミントン	バドミントン	岡田 一輝・竹内 聰
		田島 悅男・小林 量・今井 健太
		箕輪 学・飯塚 勇一



## OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
ソフトテニス部OB会	田口 恵一	74
サッカーチームOB会	清野 哲雄	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
山岳部OB会	松本 基志	77
水泳部OB会	島崎 秀明	77
剣道部OB会	小池 政一	77
ラグビーチームOB会	今村 孝之	80
バレーボール部OB会	眞下 公利	81
テニス部OB会	斎藤 英敏	83
スキー・スケート部OB会	佐藤 雄一	86
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85
陸上競技部OB会	甲斐 俊輔	87
バスケットボール部OB会	塚本 浩史	99

〔金田・硬式野球部・106期〕

おかげさまで第43号の会報を発行することができました。

寄稿いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

さて、私は妻に言わせると「高高大好き人間」だそうです。高高的正門前に家を行い、硬式野球部の先輩が経営する会社に勤め、生まれたばかりの子供に校歌を聞かせて育てる、た

しかに自分でも高高が好きな実感があります。

そんな私ですが、恥ずかしながら編集委員になるまで会報

の存在を存じ上げませんでした。翠巒体育会の若い世代における認知度は未だに低いと思います。

編集後記までお読みいただけるような熱心な高高大好き人間の貴方、是非翠巒体育会と会報の周知にご協力ください。現在インターネット上でバックナンバーを全号お読みいただけます。

高高を愛するOBの間で昔話に花が咲くことでしょう。